

層田

No. 39
2022. 7



広報・事務局

平城ニュータウン文化協会

【表紙について】

新年度に入り平城ニュータウン文化協会も役員改選が行われ新体制でスタートしました。感染症発生三年目の今年は、徐々に社会活動が再開され、感染対策をしながら文化協会の活動も始まり、新たに三つの講座がスタートし会員拡大を願っています。

市民文化ホールの会場は使用可能ですが、大規模集会は人数制限があり、五月の総会及び講演会は中止させていただきました。

去る三月二十日に第三回理事会を開催し、第四十回総会議案書案を了解いただき、その後、書面による議案項目ごとの承認をいただきました。その内容は今回発刊する「層富三十九号」の末ページに掲載していますのでご確認お願い致します。また文化協会ホームページ (<http://hntbunka.jimudofree.com>) にも掲載いたしますので是非ご覧ください。

そんな中、今回の表紙は春日大社で毎年行われています、平安時代後期から続いている天下安泰と、五穀豊穡、万民の疫病・災いなどからの安泰を願って舞を奉納されている情景を掲載し、文化協会会員の安泰を願いたく選定させていただきました。

どうか新型コロナウイルスの感染防止に努め、文化活動に努めて頂きたいと思っております。

層富

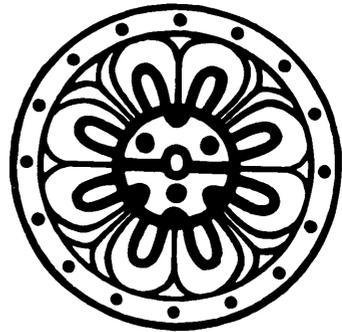
(川口勇書)

会誌名「層富」(そほ・そふ)の由来

私たちが住んでいる平城ニュータウンの地域は、古代には「層富」または「曾布」「添」とも記され、「倭六県」(やまとのりくのあがた)の一つでありました。出典は『日本書紀』の神武即位前紀己未年の春2月壬辰朔辛亥(20日)の条に見える「層富県」によりました。

題字もはじめ小さく、あと大きくしましたのは皆様の将来と本会の末広の発展を願ったものです。

古代大和の由緒ある地名を理事会の賛同を得て会誌名としました。ご愛顧の程を。(網干善教)



会章

平城ニュータウンの「平」と文化協会の「文」を上下に組み合わせ、単純な円形にまとめ、音如ヶ谷瓦窯跡から出土の古代軒丸瓦の中央部分に配置したものです。蓮華の中の埴輪の顔のようにも、二人三脚で楽しんでいるようにも見えます。

(基本デザイン 寛 裕)

(構成デザイン 梶野 哲)

三十九号【層富】目次

「表紙について」(写真と文)	1
「層富」と「会章」の説明	1
「目次」	2
「巻頭言」	3
「三十九号発行に寄せて」	4
「グループ便り」	5
「短歌」	33
「俳句」	41
「寄稿文」	45
「高の原万葉歌碑」	45
「VUCAの時代と星のワッペン」	46
「奈良中国帰国者支援交流会」	49
「俳句」	50
「第三十九回(二〇二一年)文化祭」	51
「第四十回(二〇二二年度)総会報告」	67
「講座・同好会(二〇二二年度)一覧表」	73
「理事会議事録」	74
「会則」	76
「編集後記」	78

《巻頭言》

平城ニュータウン文化協会会長

明政 文男

このたび、六年もの長期間に渡り文化協会会長をされた日比野会長が退任され、ITを楽しむ会の明政が文化協会会長を務めることになりました。今まで協会役員では広報を主に担当していましたが、このような大役を仰せつかり、どこまで皆様にお役に立てるか判りませんがよろしく願います。

文化協会も年々高齢化が進み役員の成り手が少なくなり、多くの行事の運営が難しくなっています。しかし長い歴史を持つ平城ニュータウン内の文化活動を少しでも手助けする協会を、ここで途絶えることは許されたいと思います。何とか会員メンバーのご協力のもと運営していきたいと思っております。

文化協会のホームページに掲載の「層富」昭和六十年創刊号では、文化協会設立のエピソードなど興味深い内容を知ることができます。また、一九八七年当時は、講座数が二十六あり、フランス語講座、フォークギター講座、ワープロ教室、星を見る会、囲碁同好会、園芸の会などユニークなサークルや講座があり、また開催日も平日だけでなく土・日曜日もメンバーが集まっていたようです。

文化協会の会員数がコロナ感染拡大の影響や高齢化により減少する状況で、会員数増を目指すには何か新しい企画工夫が必要ではないかと思っております。

そして会員メンバー一人ひとりが文化協会を少しでもより良くしようとお友達を誘い、新会員を増やそうと思われればきつと新しい展開があると思います。

会員皆様方のご協力とご支援をよろしく願います

「層富三十九号に寄せて」

市民文化ホール事務長 田辺 正人

本年四月から奈良市北部会館市民文化ホールの事務長に赴任いたしました田辺正人と申します。

平城ニュータウン文化協会設立四十周年おめでとうございます。

協会の皆様には、文化的活動や地域間交流など幅広い活動を続けられ、平城・相楽地域の発展に大きな役割を果たされてきたことに敬意を表すとともに、当ホールの運営にご理解、ご協力、温かいご支援をいただいていることに厚く御礼申し上げます。

一昨年からのコロナ禍により外出の機会や人との集まり、出会いが減少しています。密を避けたリ、ソーシャルディスタンスとして、人と人との身体的距離の確保が求められています。が、ややもすれば心の距離まで離れていってはいないでしょうか。

このような状況の中、感染対策を取りながら皆様を取り組んでおられる様々な活動は、人々をつなぎ生活に活気と潤いを与え、健康的な暮らしに必要な不可欠なものと再認識されることと思えます。

会員の皆様のサークル活動などにご利用いただいております奈良市北部会館市民文化ホールは、地域の皆様の文化活動の促進、教養の向上及び健康の保持を図り、福祉の増進に役立つことなどを目的に二〇〇四年に開館しました。ホールでは、高原原文化・健康講座などを開催しております。

今後も、皆様のさらなるご理解ご協力のもと、地域の皆様にとって使いやすく親しまれる施設運営と芸術文化の振興に努めてまいります。

最後に、平城ニュータウン文化協会の更なる発展と会員の皆様方のご健康・ご活躍を祈念いたしまして層富三十九号発行に寄せてのご挨拶とさせていただきます。

グルーブ便り

「料理を楽しむ会」 熊本 悦子

早いもので、「料理を楽しむ会」に入会してから九年にもなります。

月に一度平城西公民館で、松村先生が考え、食材を準備して下さった献立を五・六名ほどのグルーブメンバーと一緒に調理します。皆、何十年も台所に立つ主婦のこと、材料を切る者、洗い物をする者、レンジ通りの調味料を準備する者、阿吽の呼吸で手分けして三時間弱程度で四品程の献立を作り、四グルーブ全員揃って豪華な昼食を試食します。

家庭での孤独な調理作業と違って、皆でワイワイ知恵を出し合って新しい献立に挑戦、これが何とも楽しい時間です。時には失敗することもあります。先生に助けて頂いたりしながら調理実習を楽しんでいます。

月一回の楽しい時間を持つことが出来るのも

先生は勿論のこと、お世話下さる先輩のお陰だと感謝しております。

が、このところ残念ながらコロナ禍により実習が中止になったり、実習が出来ても皆と一緒に試食できなかつたり、講座の楽しい年間行事である秋の西公民館祭や文化祭での出店も中止となり、大変残念な思いです。

一日も早くコロナが終息し、普段通りの活動が出来る様願っています。



「短歌を楽しむ会」

田中みや子

ある日、日経新聞を読んでいると、かこみ記事に、田中教子氏が和服を着て中の島公会堂で若い人を集めて月一回歌会をひらいていると・・・彼女はア

ララギともつながらる人であった。あこがれの岡井隆氏もアララギ系の人ときいていた。

レトロな建築にて、高校時代を中の島ですごした私は青春時代をとりもどすようなかんじだった。「層富」のようなうすい本に、はじめて自作の歌が活字になった時のうれしさは、他にたとえようもなかった。しかし長女にみせると、「こんなん読まなあかんの？」といわれてしまい、死ねばすぐ燃やされるかとやる気をなくした。

若い人というのは、高校教師で賞を目指す感受性が強い人たちだった。又、きびしい批評をしあうのがあたりまえの世界で、なれない私は耐え切れずとうとう去ることとなってしまった。

次に梅田の朝日カルチャーへ入ることにした。未来の同人の水沢よう子氏が先生だった。これ又、岡井さんが来られるかと期待したが来られなかった。ここは、カルチャーが閉鎖になり、やめることとなる。

もう、梅田まで行く元気がなくなりこの街の公民館の先生につくことにした。

しかし先生が高齢でこれ又やめられることとなり、平城NT文化協会の短歌をたのしむ会に入れてもらうことに。

長い間、あちこち放浪の旅をしてきたがただ一つでも快心の歌が出来たらと励んでおります。

おもしろうてやがて悲しい歌の一つでも作りたい。死ねばすぐ焼かれる身だがぐちばかり言うのも：「清し」の生き様にしたい私には、合わないだろう。この世のことは夢の又夢と秀吉もいったではないか。

短歌をたのしむ会は毎月第二火曜の午後一時半から北部会館にて開かれます。

歌を月に二首つくり、当番の人に送ります。

当番はプリントして当日にくばり、会の司会をします。講師は「ヤママユ」の編集をされている様原聰先生です。

歌を会員が批評感じたことをいい、作者の説明があったあと、先生がていねいにご指導くださいます。

長年やっておられる方や、はじめたばかりのいろいろなのですが和気あいあいできておりますのでどうぞ一度のぞいてみて下さい。



「折り紙を楽しむ会」

西川 浩美

私が折り紙を始めたきっかけは、近所の人から北部会館で作品展の話聞き、長く兜台に住んでいるのに今まで全然知らず、軽い気持ちで一度見てみようと思い、出かけた。

会場では色々なサークルの個性にあふれた作品があり、その中に折り紙の展示もあって、見た時には折り紙ってこんなのが出来るんだと、自分は鶴ぐらいしか今迄作ってないので、色とりどりの花々色紙等を見て感心するばかり。その後折り紙を楽しむ会に入会することが出来ました。一回目に参加した時は部屋いっぱいメンバーの方の中で少し緊張した。

最初に教えてもらった作った「万華鏡」色の組み合わせや折り方が結構難しく、五時間終えて帰宅した時には、どっと疲れてたなど。

あれから早いもので三年、今春には四年目に入ります。その間に色々作ったものです。

四季おりおりに花も何種類か、折る紙にも普通の折り紙、和紙、千代紙とそれぞれ紙によっても花の

表情や感じもちがう。私は(ばら)の花が難しく苦手だ、ずいぶん形がうまく出来ずに四苦八苦、手伝ってもらって何とか完成。三月は桃の節句で、お雛様を作ったり、五月は端午の節句。牛乳パックを利用してきれいな紙を箱の表面に貼って内側に菖蒲の花、外側には鯉のぼりがたなびき、正面に兜を飾った「飾り小箱」これはまあ上手く出来た様、結構いい作品だなと自分では気に入っています。又晩秋の頃には、お正月用に千支の飾りを。今迄に私は「子」

「丑」「寅」と三種類、十二支なので残り九種類あるので、今から全種類を完成させることが出来るかなと。

折り紙をしていると熱中して時間がすぐに過ぎて行きます。自分で作った色紙や花等、玄関や壁に飾っていますが、遠くから眺めると 結構(いいな)と自画自賛。

これからも体気をつけて、



折り紙で色々と新しい作品にチャレンジして、楽しく元気に頑張って行きたいと願っています。

「飛鳥学講座」

聖徳太子への質問：・何故飛鳥に住まなかったのか
福本 雄式

法隆寺でのボランティアガイドの活動中に、いつからか「聖徳太子は何故飛鳥から十六キロも離れた斑鳩に引越してきたのだろうか」とたわいない疑問を持ち続けていたことがあった。

ご承知の通り「聖徳太子」と云う名は諡号しごうであり、奈良時代の五七一年に第三十一代用明天皇の第二皇子として、蘇我の稲目の孫にあたる穴穂部間人皇女を母に誕生。厩戸皇子、豊聡耳皇子、上宮太子などのいくつかの呼び名が伝わっていた。

十四歳の折、物部守屋軍と衣摺(八尾市)での蘇我・物部武力闘争戦に参戦、斑鳩の地が大和川に位

置し水陸交通の要所であり、大和と河内を結ぶ竜田道に近く難波津に至る最短の連絡に便宜であるという交通の要地という点からも、ここに宮を構えることにしたのだろうか？

『何故、飛鳥豊浦宮からは十数キロも離れた斑鳩に宮室を営んだのか？』

推古天皇のもと、飛鳥の地で摂政として天皇を補佐するのが役目であったにも関わらず、推古九年（六〇一年）突如として斑鳩の地に宮室を建て始め、四年後には実際に住み始めてしまったのである。そして直線距離で凡そ十五キロの道のりを調子磨という従者をしたがえて飛鳥に通った「筋交い道」も整備されたが、一つには、斑鳩の地が大和川に沿うために龍田を越えて河内に通ずる交通路の要衝に当たっていたことから、斑鳩の宮を造ることが難波から新文化をいち早く受け入れる所に居を移すことであつたのだろう。そして太子は斑鳩宮の側に本格的な寺院を建立した。これが現在の法隆寺のルーツである。また、この地を抑えていたのが膳部氏で、その娘と婚姻を結んだ膳妃（菩岐々美郎女）のゆかりの地で

あることと考える人も多い。

しかし、転居の理由については多くの謎解きが試みられてきた様で、私の疑問よりも早くから課題にされていたのである。

それには、岳父であった蘇我馬子との対立である。初めこそ、うまくいっていた二人の関係も時が過ぎ、政治・外交の諸政策において意見が食い違うことが多くなったのでは無いかということである。

この確執の為、聖徳太子は蘇我氏の勢力圏から逃れる為に斑鳩に移ったのだとも云われ、飛鳥に居住すべきであった太子が結果的には蘇我氏と距離をとり政治の舞台から退き、世俗を捨てて仏道に専念するべく仏教・経典の研究に没頭していたとの印象を受ける。

さらに、聖徳太子が斑鳩の地を反蘇我の拠点とした可能性として伝えられている文献も見ら



白山神社の聖徳太子・黒駒

れ、それには蘇我馬子に殺された穴穂部皇子が藤ノ木古墳に埋葬されたと比定されているからでもある。

その他、六〇一年と云う年は古来、中国では革命が起ころとされた辛酉しんゆうの年にあたり、それに基づき転居したと云う説もあり、数々の推測に溢れていることを発見したものである。

古き時代の数々の謎解きに興味をそそるのであるが、幾多の書籍を調べていくと今迄から既に



多くの方が調べて居られ、私の疑問は今更ながらであつたが、これらの事柄について一つでも知識を得られたことに自己満足しているのである。

「源氏物語を読む会」

堀口千秋

二〇二〇年八月から、コロナ禍の影響と、浅田先生のご体調が優れないので、ずっと休講が続いておりましたが、二〇二一年十二月末で、浅田先生がこの講座をお退きになりました。二〇〇六年から十五年間、いつも変わらず、優しく懇切丁寧なご指導をいただきました。忘れてしまった文法を呼び起こしてもらったり、物語に沢山出てくる和歌の引き歌を調べてくださったり、皆々、本当に感謝しておりました。浅田先生のご回復を、只々お祈りしております。

月二回の講座を待ちどおしく思っておりましたが、新たに右京三丁目にお住まいで、元国語の教師でい

らっしゃった「松津喜美子先生」が、一月から講座を受け持つて下さることに なりました。

源氏物語十帖の「賢木」の途中まで進んでおりましたが、そのまま引き続き続いて講義をしていただいております。休講が長かったせいか、受講者が減少しました。

日本最古の文学小説「源氏物語」をご一緒に読みませんか？



「中国語同好会」 彌田智一

還暦を機に、人生のリセットと意気込んで、東工大を早期退職、住み慣れた首都圏から引っ越ししました。生まれは大阪、育ちは京阪神と瀬戸内の呉で育ったので、山野が近い風景は懐かしく、初めての奈良住まいは六年目に入りました。化学と高分子が専門の研究者として、同志社大学に小さな研究室を構え、Small Baseballならぬ Small Science を続けています。

平城ニュータウン文化協会のちらしを見て、毎週木曜の中国語同好会に入会しました。語学はあまり得意ではありませんが、二十年以上も中国人と交流があり、余生は中国で活躍する研究者や卒業生を訪ね、世界遺産を旅行するのが動機です。二〇二〇年十二月、緊張の初日を想い出しながら、中国語同好会を紹介します。

男女ほぼ半々の受講生二十数名が三々五々集まる中、「雪の降る街を」のメロディーが流れ、あちらこちらから中国語歌詞の口ずさみが聞こえます。新型コロナウイルス感染対策のため、ごくごく控えめの中国

語唱歌が、講座のスタートです。曲目は数ヶ月おきに変わり、現在は一九八五年に台湾歌謡界の歌手六十人が集結したチャリテイソング「明天会更好（明日はもっと好くなる）」に挑んでいます。先生は、最新の中国語ニュース、中国語学習者をターゲットにした You Tube 番組、川柳のような現代漢詩、中国語検定の過去問など、毎回、多彩な教材を準備され、私たちの興味を繋いで、文化や時事も含めた講義をしていただいています。どの教材でも共通するのは、みんなで音読することです。もちろん、控えめに。講座の最後は、NHKラジオ中国語講座の会話をみんなで音読のあと、一人ずつ当てられます。順番が回ってくるまで、ちょっと緊張です。中国語は、声調という音の高低が特徴で、初学者を悩ませます。私の場合、正しい声調を外した上に、余計な首の上下運動が先行しがちです。盛りだくさんの九十分講義が入門コースです。出席率も高く、多くの方が数年以上続けて受講されています。感染対策で中断していた講座後の歓談、呑み会、ハイキングなど課外活動も徐々に再開しつつあります。上級

者コースでは、中国語の古典などを教材に長文読解を学習されています。今年は、十一月文化祭の上演部門も再開とか、中国語唱歌の準備にも力が入ってきました。

入会から一年半、私の声調はまだまだですが、NHKラジオ講座「まいにち中国語」は、一年を通して聞くようになり、中国語同好会は私の学習の動機づけになっています。ゆっくり成果を期待して、毎週の講座と課外活動を楽しみにしています。

都立大、東工大の研究室では、中国から若くて優秀な博士研究者や留学生をほぼ毎年受入れ、欧米からの研究者も含めて研究室は国際的でした。日本人の大学院生には、共同研究のために短期派遣もしました。研究室から巣立った中国人の多くは中国の名大学で教授になったので、日中の若手研究者の交流のため、尖閣諸島問題の二〇一二年を除いてほぼ



毎年、二〇〇人規模の日中材料科学シンポジウムを中国各地で主催しました。毎回、日本の十大学二十研究室から約五十人を連れて、北京、西安、成都、常州、南寧ほか、Good Science & Good Exchangeを謳って、充実した学術交流を楽しみました。これほど長い間、親密に中国人と交遊しながら、私の中国語はひどく、もったいない話です。研究交流は英語ですが、会議以外のホテル、レストラン、観光では、巢立った中国人が流暢な日本語で世話をやいてくれ、日本より快適です。甘やかすと勉強しない典型ですね。だから、人生のリセットを機会に、中国旅行を目標に、地道にこつこつ勉強しようと思ってるわけです。継続は力なり。ラジオ中国語講座を一年以上聴き続けたので、ちょっと欲が出て、今年四月、「まいにちイタリア語」を聴き始めました。新鮮さもあって、五月号テキストも買いましたが、ちよつと火遊びかも。あくまで、中国語一番でまいります。中国語同好会の先生、受講生の皆さん、これからよろしくお願いたします。

【中国語同好会のご案内】

右京ふれあい会館にて、第五週を除き毎週木曜日の午前中（初級コースは9:15～10:30、応用コースは10:45～12:00）に開催されます。詳しくはホームページをご覧ください。

《<https://heijyo-newtown-china.jindotree.com>》

「わくわくニット」 渡辺直子

わくわくニットは高の原駅前団地にお住いの会員の方のお世語で集会所を利用して頂いてから四年目になります。毎月第一木曜日午後一時から三時まで開会しています

松岡リーダーをはじめ堀口さん柳本さんが指導して下さいます。

文化協会の理事は成田さん、会計係は吉本さんです。四月には三名の入会希望者があり、皆さんで仲良く編み物に励んでいます。

以前に一度は編んだ事があるが、今でも編めるか

しら?と思われる方がおられるかもしれませんが、わくわくニットでは、ご自分が編みたいと思われる物をその時の技に応じてリーダーをはじめ会員の方が教えて下さいます。参考になる本も沢山見せて頂く事ができます。一度お越し下さいませんか。針と毛糸があれば好きな物を編む事ができますよ!お待ちしております。



「朗読を楽しむ会」

真中芳美

私は「朗読を楽しむ会」に所属し、月一回開催の例会で朗読の楽しさを味わっております。

例会では講師の辻本典子先生が選定された教材を基に朗読を学ぶのですが、毎回、朗読に入る前に、全員で「母音発声法」や「口の運動」、「早口言葉」の唱和などで、口の円滑な動き促すウォーミングアップ(?)を行い、正確な発声のための準備を行っています。

朗読は、それを聞く人に作品の良さを伝えるのが目的ですが、その為には読み手は作品の良さを感じて貰えるよう、その内容を深く理解すると共に、「朗読の技能」を身に付ける事が求められます。そのため私達会員は様々な技法を絶えず学んでいるのですが、それ以前に、朗読の基本として前述の「円滑な口の動き」、「正確な発声」に繰り返し取り組んでいます。

話は少し変わりますが、テレビのニュースなどで高齢の方がインタビューを受けているシーンをよく

見かける事が在ります。その際、話をされている高齢の方の言葉が非常に聞き取り難い事がよくあります。そのため、最近ではテレビ局の方で映像画面の下にテロップを付け、発言内容を正確に視聴者に伝える工夫をするケースが増えてきているように思います。



私も昨年夏、自分が喋っているシーンを写したビデオをたまたま見る機会がありました。その時、自分の喋り方が老人の喋り口調そのもので、非常に聞きづらいものであった事に、強い衝撃を受けました。

「朗読を楽しむ会」の例会に於いて、辻本先生は常々、朗読が特に高齢者にとって、非常に有益であることを力説されておられますが、喋り口調の「衰え」を防止するために朗読を学ぶことが非常に有益であることは確かだと思えます。加えて、作品の理解、朗読の表現力向上のための学びと訓練が頭脳全般の活性化に非常に有益であることも最近、特に実感しております。

朗読には、読む人により、それぞれ個性があり、他の人の朗読を聞くことにより、自分一人で小説や随筆を読む「読書」では得られない、作品の素晴らしさに気付かせてくれる不思議な力があります。年齢を重ね、身体のうちこちにガタがきていますが、会員の皆様との朗読の学びを通じ、頭脳の健康状態が少しでも長く良い状態に維持出来れば、と思っています。

「パッチワーク研究会」 白澤寿美

四年前、北部会館の講座で一緒だったリーダーの打田先生とのご縁で、初めて「平城ニュータウン文化祭」を拝見して、パッチワーク研究会の皆さんの素敵な作品を眼のあたりにした時「私も作ってみたい」と思い、お仲間に入れて頂きました。

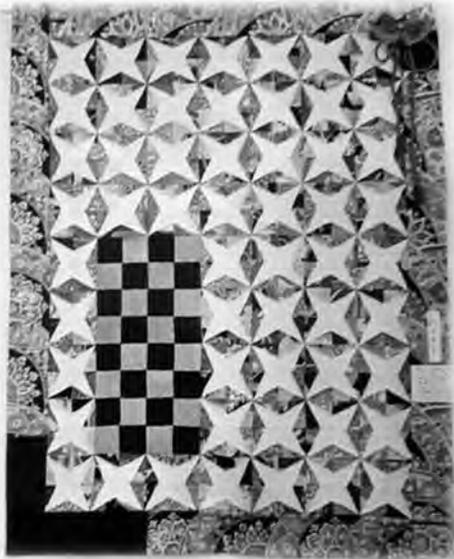
あまり根気の無い私ですので、諸先輩の様な立派なパッチワーク作品はまだですが、先生にご指導頂きながら、簡単なキルトをスローペースで作成しています。作品が完成した時は、本当に嬉しく愛おしく感じます。

教室はコロナ禍でもあり変動する場合がありますが、第一・三金曜日の午後二回活動しています。

毎回、先生や先輩の皆さんのすばらしい作品を見て刺激を受けたり、古着や端切れを使った作品には感服したりと、楽しい時間をすごしています。

メンバー各々が自由に様々な作品を作っています。一度覗きにきてみて下さい。

最後になりましたが、たくさんのお出会いと、新たな目標を見つけてるきっかけをくださった平城ニュータウン文化協会の皆様に感謝しております。ありがとうございます。



「古文書を読む会」 細井 祥廷

七十歳を過ぎて古文書を読んでみようと思いはじめ、自分の周りの友人に相談すると、皆が皆「その歳では難しい。やめておけ!」と言うだけで結局誰一人頑張れ!と言ってくれませんでした。私はただ単純に、美しい伴大納言や源氏物語の絵巻物に記された文や戦国武将(秀吉・信長・家康など)の書いた手紙や通達などの意味が分かったら面白いだろうな、と考えていただけでしたから、皆の反応で「読むのはちよつと難しそうだな。」さてどうしたものかと迷いが始めた状態で「古文書を読む会」の石川リーダーと面談をする事にしました。初めからとても元気なお方で私に「休まず例会には出席できませんか?今からなら休まずやったら、すぐ追いつきますよ。歴史の本を読んでいたら理解は早いですよ。とにかくまず、読めるようになる事だ。」と一方的に語られました。そして(やろうかやめようか)迷っている私に「私は親切な教え方をしていますから」と含みのある言葉を残して面談は終わりました。

私は司馬遼太郎の本を読むのが好きなので、歴史に引きずられた形の入会となりました。以後休まず出席し、今日にいたっておりますが、石川リーダーからは、初心者用の文書から難解な文書、地方文書から武家文書と幅広くテキストを作って戴いていきます。確かに石川リーダーの指導は本当に親切で、読めるようになる為の知識やノウハウの有りったけを教えてくださいださるのですが、私はなかなか消化できずにいました。が、博識で、熱心で、親切なメンバーの方々に助けられての亀足前進状態ですが、楽しく頑張っております。

日本の歴史に関心のある方々が常に話題にされる(本能寺の変)の主役、明智光秀が何故主君織田信長に背いたのか?その原因は何だったのか?今も喧嘩々々が続いている中で最近見つかった古文書からこれだ!という情報が入り話題になっています。古文書は生きた歴史です。それを読み、知るのを楽しんでいますね。



古文書を読む会 ふれあい会館 満開の桜の下で 2022.04.09

「万葉書き方教室」 池田八重美

あまのはらふりさけ見れば春日なる
三笠の山に出でし月かも

安倍仲麻呂

先月の筆のお手本です。学生時代丸暗記しました。今、ここ奈良に居住し、改めて身近に感じる歌です。

そしてとても悲しい、涙を誘う和歌なのです。

御存じのとおり、仲麻呂は遣唐使として中国に渡り、なんと科挙（官僚試験）に合格。皇帝に重く用いられ、片腕となり、唐のために尽力します。お役目を果たし、やっと日本に帰ることが出来ると思ったら、船が転覆。望み叶わずまた唐に戻り、やがて死没。

故郷を思つて詠んだ仲麻呂の心持ちを感じながら、筆を運んでいます。

さて、筆は何処のご家庭にもある筆ペンを使います。墨を磨る必要がなく、手も汚れない、後片付けもなし。

その他のお手本は詩、漢詩、哲学。ポップなものでは、さだまさしの恋愛症候群の歌詞などを。これ

らはサインペン、万年筆またはボールペンで練習します。

中西先生が取り揃えて下さった情緒豊かなお題、杜甫を、ゲーテを、啄木を、家で眠っているペンと紙で味わうことが出来ます。

最近はずを書くことも無く、パソコン・スマホで家計簿・日記まで記録できます。アナログな世界もまた楽しいものです。やさしい文字に触れ、ゆったりとした時間を作ってみませんか。一度見学にお越しください。



右京ふれあい会館 毎月第四土曜日
十三時半から十五時

「太極拳と歩き方」

杉田敏江

初めまして、今回より参加させていただくことになりました。皆様よろしくお願ひ致します。

活動は毎週土曜日の朝七時半より一時間、朱雀ふれあい会館西側の平城二号公園時計塔の下、講師の岡典子先生のご指導で行っています。気持よい朝の空の下、岡先生の動きと説明を見聞きしながら、太極養生五防功、歩き方、練功、二十四式太極拳の健康体操を音楽に合わせて行っています。間の休憩時は和気合々のおしゃべりタイムになっていて楽しいひとときになっています。

私は太極拳をご指導いただいで数年になりますが、今では太極拳を終えた後「今日も、いえ今週一週間元気で頑張れる！」と思わせてくれる大切な時間になっていきます。

太極拳の動きは難しそうな名前ばかりですが、いずれも健康保持の為のやさしい基本の動きばかりです。ですので安心ください。

これから健康で過ごせるよう皆様はじめてみませんか。土曜の朝、是非一度体験にお越し下さい。

なお屋外での活動ですので、十二月中旬～三月中旬までの寒い期間はお休みとなりますので、ご安心下さい。



「歌声サロンへようこそ」 西嶋 健一

私たちの歌声サロンには音楽が満ち溢れています。「音楽」は「音」を「楽」しむと書きますが、本当に音楽が好きな仲間が集い、心ゆくまで歌っています。

音楽のジャンルは童謡、唱歌、叙情歌、演歌、ポップス、フォークソング、ブルース、ワルツなどとても幅広く、しかもほとんどの人が歌える歌が多くなっています。歌声サロンに参加していただく、誰もが「あくこの歌は知っている」「この歌なら歌える」「懐かしい歌だなあ」と思って頂けます。これは小島先生がこれまで音楽活動で多くの方からリクエストを頂いて演奏されてきた歌がリストにまとめられており、多くの人が知っている歌や聞いたことのある歌で構成されているからです。また、最近話題の歌も取り入れて時代に遅れないようにしています。私たちは歌いたい曲をリクエストして先生のピアノ演奏に合わせて楽しく歌うのです。

音楽に色々なリズムの歌がありますが、私たちはこれらを意識することなく自然に歌っています。手

をたたいたり、足でリズムをとったり、机をたたいたり、時には踊ったりして体全体で表現して歌い、多少のズレは気にせず、楽しく歌うことを大切にしています。楽しくリズムをとれるのも世代を超えて歌いつがれてきた歌であったり、誰もが知っている大ヒットした歌であったり、思い出の詰まった歌であったり、日常において知らず知らずのうちに口ずさんで自ずとリズムをとってきた歌が多いからです。

見ているも楽しいのも歌声サロンの特徴です。人の歌い方にすぐく違いがあると感心させられます。心を込めて歌う人、少年少女合唱団のように清らかに歌う人、アクションを入れて激しく歌う人、腹から声を絞り出すように踏ん張って歌う人(下から臭い?でないか心配)、スナックで歌うように酔いしれて歌う人、と個性あふれる歌い方をしています。このような違いがあっても小島先生のピアノ演奏で不思議と一つの素晴らしい歌声になります。

先生の指先一つで個性豊かな集まりが協調し合って何とも言えない味わいのあるハーモニーとなるのです。また、先生のちよっとした技が隠されています。

どんなジャンルであっても歌手が日々鍛錬して歌う曲は高い音域の歌が多いのですが、先生は転調されて少し音程を下げてピアノを弾かれます。そのため私たちが歌いやすく、しかも上手く歌えるのです。本当に自分が歌手になったのではないかと錯覚させられます。

なお、私が担当している歌の歌詞はプロジェクトでスクリーンなどに映し出します。しかも歌詞ごとに違った背景を入れており、例えば歌っているとき初デートの場所が映しだされると、その当時に思いながら一段と心をこめて歌うのです。歌詞に背景を入れることは歌っている人の想いの世界を広げることに役立っていると思っています。

今回歌声サロンの活動内容の一端を紹介させてもらいました。とにかく音に合わせて楽しく歌うことを第一義にしており、皆さんも是非立ち寄って頂き一緒に歌いましょう。



「トールペイントばらの会」

講師 西本直江

自然いっぱい田舎の町で育った私は幼い頃より花はとも身近な存在でした。庭のつるばらのピンクの小さな花も、母と手を繋ぎながら探すタンポポやすみれ・母子草そんな小さな花にも心うばわれました。見るだけで楽しんでいた花でしたが、トールペイントに出会いアッセンブレフトというオランダの技法で簡単に華やかな花々を描けることで、花を見るから見て描くことに夢中になりました。

続けるうちに様々な技法も知りましたが広がってきています。最近の名前も知らないような小さな野の花を写真に撮り拡大して図案にし色を付けたり、長年絵の具と付き合ってきたことを生かし、テーブルの傷の補修、ウッドデッキの塗り替え、汚れの目立つ靴の塗り直しなどにも挑戦しています。

笑ったり、おしゃべりしたり、いつも楽しい「ばらの会」 描く素材も図案も自由です。是非一度見学や体験してみてください。

毎月第二水曜日午後一時～四時 平城西公民館
に集まっています。



「英語講座」 宮城 美佐保

今まで、海外旅行に行くたびに、英語でおしゃべり出来たらどんなに楽しいかと、常々思っていました。

そんな折、広報で英語講座初級の見出しを見つけ、早速橋本先生に連絡を取りまして、見学に行きました。

た。みな様、和気あいあいとそれに歌をうたう!! 楽しんでそう!

若い時から洋楽が(古い言い方ですね)好きで、やはり懐かしいメロディです。リズムは分かっているても、実際歌うことはむずかしく、英語の歌詞を追いかけるのに必死で、曲についていけない。

しかし講座のおかげで、歌詞の真意が分かり、面白く、楽しい時間です。

昨今、世界は目まぐるしく変わり、海外旅行などとは言っておれない時代になりましたが、今後の為にも急がず、ゆっくりと英会話を勉強したいと思います。



「絵画・絵手紙の会」 神谷 文子

絵手紙の会に参加して毎月第一と第三の火曜日の午前中充実した時間をすごしています。

絵手紙は日々の生活の中で見つけた花、野菜、置物など身近にあるものを葉書に描き、心の言葉を簡潔に書き添え、消しゴムで作った落款印を押して出来上がりですが、最初は墨での線描きに筆が震え、どうなる事かと緊張しますが不思議とそのゆがみに味わいが出て新たな発見にもなります。

同じ花を描いても十人十色の素敵な作品が出来上り描く人それぞれの個性が現れるのです。

顔彩絵の具で色付けしますが、はみ出しても塗り残しがあっても描く人の個性なので作品に失敗はなく、思わぬ傑作が出来上がる事もあります。

今では散歩の途中で季節を感じ、木々や足元の野の花にも関心を寄せていつの間にか次に描く花々を探している自分の変化にも驚いています。

継続は力なり・・・ためらいながら入会してから三年目を迎えますが、教室の皆さんと持ち寄りの花

や果物を横から、斜めからながめて構図を考え葉書に描きます。

色付けて迷うと講師の日比野先生からの確なアドバイスを頂き、送る相手を想像しながら言葉添える、何となく自己満足の作品になっていくから不思議です。

勇気を出して恥ずかしながらポスト投函しますが、絵手紙ありがとう、嬉しい“の連絡を頂くと相手の距離がとても短くなったように感じますし、また励みにもなります。

花はいつか枯れてしまいますが葉書に描いた花は



枯れることがなく、はがきホルダーに収めるといつしか自分史の一部になっていきます。

ある精神科医によると創造力やイメージを作る絵手紙などは右脳を刺激するようで、使うほど、鍛えるほど右脳はどんどん開発されるようです。

絵手紙に興味のある方、小さな葉書に季節とあなたの心を描いてみませんか。

北部会館でお待ちしております。
気軽に見学にいらしてください。

「押し花とプリザーブドフラワーを

楽しむ会」

高橋かおり

平城ニュータウン文化協会の「押し花を楽しむ会」の講師を故・広崎光子先生に代わり、引き継がせていただき十四年が経ち、十五年目となりました。

とにかく押し花が楽しい、家だけだとやる気も出ないけどワイワイと他の生徒さんと出来るのが嬉しい。そう言って楽しんでくださっています。

二〇二一年の秋の文化祭で鈴木さんはご友人からいただいたクジヤクサポテンで大きな押し花額をされました。一枚一枚花びらを押しして乾燥し、それを組み立て大きな花にして再現し、見事な作品をお作りになり、まだまだ新しい作品を作る為に意欲的な方です。

そんな鈴木さんは作品を作る時はご主人が批評する一番のお客さんだそうです。お教室には毎回送迎もされ、文化祭や展示の際はご主人が協力してくださっています。ご夫婦でのサポートに感謝するばかりです。

押し花は専用のマットに挟んで乾燥させます。

厚みのあるものは処理が必要ですが、野草などは専用マットを使うと簡単に押し花に出来ます。

押し花が出来る
と、押し花を使っ



たキャンドルや、ボールペン、マグネットやメッセージカード、押し花のシールなど、資材を使って色々な小物が作れます。

花が少ない季節にはプリザーブドフラワーアレンジも時々しており、「押し花とプリザーブドフラワーを楽しむ会」となっています。

毎月、第四水曜日午前十時～十五時位まで右京ふれあい会館にて、皆で楽しくやっています。随時体験も行っておられますので、是非お立ち寄りください。お待ちしております。



「ゆっくり歩こう会」

柳本博文

二〇一〇年平成二十二年五月第一回ゆっくり歩こう会が発足して、今年で十二年過ぎました。コロナ禍で十周年、七十回、八十回記念イベントができなかったのが残念です。コロナ禍が終息すれば、記念イベントを盛大に行いたいものです。今年は一回も休まず七回走破いたしました。参加できなかった方には、文化祭でどこへ行ったか解るように行程表や集合写真を展示しています。ご要望があればプリントして差し上げます。その時々を楽しんだりして、皆さん完歩されています。皆さんも本当は一緒に歩きたかったと思います。できるだけ行ったことのない所を探して、皆さんとゆっくり歩きたいと思っています。新しく入会される方も増えています。

昨年の例会は次の通り

・令和三年五月九日「**聖徳太子千四百年忌**」に際し、**太子道（筋違道）**を歩いて太子を偲ぶ」

聖徳太子が斑鳩く飛鳥迄、通勤に歩かれた道の半分を辿って歩きましたが、結構きつい道のりでした。

・令和三年六月六日『矢田山の散策と矢田寺のあじさい観賞』

自然こども園では、山・谷・池・緑の芝生あり、野鳥・山野草とふれあう自然を体験できました。

・令和三年九月五日『山背(やましろ) 古道の木津川部を探訪』

山背古道は、京都府南部の城陽市・井手町・木津川市の三つの市町にまたがり、京都と奈良を結ぶ全長二十四kmの散策道です。その半分を、自然を感じ、文化財に触れながら歩きました。機会があれば残りの半分も歩きたいと思えました。



・令和三年十月三日『明日香の北西部(藤原京跡から檀原神宮)を散策』

コスモスはまだ咲いていませんでしたが、逆コースで歩くと、元薬師寺、檀原神宮等、景色がまるで違って見えました。

・令和三年十一月十四日『ならまちから奈良公園の紅葉を訪ねて』

ならまち界限をゆっくり見て歩くと、ならまち格子の家・十輪院等、なかなか良いものでした。春日大社・若草山・二月堂等山沿いを歩くと紅葉が始まっています。

・令和四年一月十六日『下鴨神社(初詣)から京都植物園散策』

下鴨神社という通称で知られる賀茂御粗神社(かもみおやじんじや)は、小川や木々も生い茂っており自然との一体感も感じられる広大な境内です。葵祭の行われる処でもあります。しかも縁結び・美容のパワースポットでもあるんです。

京都植物園では一月でも咲いている花がたくさんありました。中でも温室は珍しい面白い花もありま

した。(写真参照)

・令和四年四月三日『西大寺から平城旧跡・秋篠川沿いの“桜”を探索する』

降水確率四十%でしたので決行しましたが、大雨にもならず歩くことができ、処々の満開の桜を見つれることができました。

平城旧跡では二条通りから入り、新しく建立された大極門・情報館・平城旧跡資料館と視て廻ると、すごい広さを感じました。秋篠川沿いの桜も佐保川に負けず劣らず見事な桜でした。



ダースベーター
そっくりのアリス
トロキア・サルバ
ドレンシスという
花



猿の顔に見える
「ドラクラ・
ギガス」

「ITを楽しむ会」

リーダー 明政文男

このサークルでは、スマートフォン（以下スマホ）やパソコンの使い方を学んでいます。

当初スタート時は、全員がスマホやパソコンを同じテーマで学ぶという形式で開催しておりました。しかしながら、スマートフォンには、アンドロイドと 아이폰 というオペレーティングシステム（基本ソフト）の違いがあり、また機種によってメニューや操作方法が違うという参加者にとっても、教える側にとっても難儀な現実がありました。さらにスマホが全く初めての方、基本的なことは分かっているが更に使いこなしたい方と要望が全く違う参加者が混在していました。パソコンについても、参加者のスキルに大きな差があり、ついて行けない方も見られました。

この状況を解決するために、現在では次のようなスケジュールで開催しています。

会の前半は、スマホを2クラスで、基礎クラス（石

野先生)と応用クラス(松尾先生)。基礎クラスは、全く初めて使う方向けで、ボタンや画面の操作、「IMEの使い方などを学んでいきます。応用クラスは、スマホを使いこなすという目的でGoogleアプリやYouTubeなどを学んでいます。会の後半は、パソコンの2クラスで、基礎クラス(日比野先生)は、パソコン初心者向けでWordを学びながらパソコンの操作に慣れていただくように考えています。後半(担当:明政)は、パソコンを使いこなすことを目的にEXCELやパワーポイント、ホームページの制作などを学んでいます。

月二回の例会なので、他の日は何も操作しなければ、すぐに忘れてしまいます。例会のない日は、YouTubeなどネット上に多くの勉強できる情報がありますので、それを活用して補っていただきたいと思えます。パソコンやスマホは、常に触って操作していれば疑問がわき、それを解決していけば自然と上達します。

私達の会は、敷居の低い和気あいあいとした自由な雰囲気サークルです。四月現在のメンバーは、

女性八名、男性(講師含む)十名です。

スマホやパソコンは持っているけど、よう使いこなせんなど思っておられる方は、思い切って開催日に見学におこしく下さい。もし見学されて続けられそうでしたら仲間に加わって一緒に学びましょう。メンバー一同お待ちしております。



「俳句を楽しむ会」

大谷とし子

三月二十三日、私たちの句会は、けいはんな記念公園「水景園」へ吟行しました。（句会に入門したての頃は先生が「京都ギンコウで詠んだ句」と仰るのを、京都銀行？と思ってしまいました「吟行」のことでした）

句仲間と一緒に吟行するのは楽しいです。

草木が芽吹き、池には水鳥や鯉や亀。里山を歩く
と鶯の初音が聞こえました。

午後の句会には全員が出した句について話し合います。同じ景色・物を見て先生や句友がどのように詠まれたかは、とても勉強になります。自分ではうまく詠めなかった事物を上手に表現しておられると、羨ましくも敬服です。

吟行はだいたい年一回。他の月は北部会館で句会をしています。コロナ禍が続き家籠りの日々ですから、句作に難儀します。

それでも自然の営みは素晴らしいです。

人間界に疫病があり戦争があっても、季節は確実に巡り変化していきます。動物も植物も天体も。



四季のある日本だからこそ、俳句が生まれ続けているのでしよう。中でも私たちの奈良は、自然が豊かで文化財の宝庫です。

それなのに私は今まで何となく見過ごしてきました。改めてじっくり観て句に詠めたらいいなと思います。

講師の先生は「雉」同人の小谷廣子先生です。小谷先生は華奢なお体ですが、大らかなお人柄で親切にご指導くださいます。また、詠まれる句も大きな、正統派の句だと感じます。

先生には常々「情景が浮かぶように言葉で写生を」「句は平明でよい」「季語は季節を表すだけでなく、思いを豊かに代弁してくれるので季語を大切に」などと教えられますが、なかなか進歩しないしすぐに忘れたりします。

このように俳句は「座の文学」なんだそうです。これからも先生や句友の方々に教わりながら楽しく続けていきたいと思っています。

皆さまも第四水曜日午後一時半より、北部会館で一緒にしませんか。

「電子工作同好会」

明政 文男

今年四月より正式に講座・サークルの一員になりました電子工作同好会です。

電子工作とは、電子部品を組み立て趣味の作品や実用的な作品を作ることです。電子工作を学ぶことでラジコンやスマートホームスピーカーなどを作ることができます。私は現在、ロボットの製作に挑戦中です。

電子工作の良さは四つ。

1. 最先端の技術に触れられる。
- 進化したマイコンボードを使って人工知能やインターネット経由でデータを取得したりできます。個人レベルで3Dプリンタを使って部品を製作している人もいます。



水やりシステム

2. 低コストで始められる趣味です。

電子部品の単価が安い。中国製は特に驚くほど安価です。そして、部品やセンサーの使い回しができます。

3. 誰でも電子工作を楽しめる。

ネット通販の普及で部品の調達も楽になり、ハンダ付け作業もほとんどしません。電子工作キットが多種あり、丁寧な説明書もついています。

4. 情報処理の知識が身につきます。

マイコンボードを使用して工作するものを動かすときにプログラムを動作させます。現在のプログラミングは、グラフィカルにだれでも簡単にプログラムできます。

5. 電子工作をやっていて楽しい

自分のイメージしたものがどんどん具現化されて形になっていくと、何とも言えない達成感がある、没頭してしまうと時間を忘れます。

電子工作は、続けているとあなたの人生をガラッと変えてしまう。ポテンシャルを持っているので、

本当に強くお勧めします。女性の皆様の参加も歓迎します。

毎月第三月曜日十三時から二時間程度で、右京ふれあい会館新館で開催しております。

添付の写真は、一枚目が市販キットの「水やりシステム」と二枚目は電子工作の核となるマイコンボードの「ラズベリーパイ」です。

ラズベリーパイは英国で子どもたちの情報教育のために開発されましたが、今では電子工作の趣味を持ち世界中の多くの人が使用しています。



ラズベリーパイ

【短歌】

母逝きて

櫛原 聰

母の死よ脈弱りゆき息絶えてひそけき夜半の病室となる
病室に死にゆく母と四時間を共にせしこと幸せとせむ
コロナ禍に面会ならぬこと多く最期を看取る幸を得たりき
心臓の弱きを永く保ち来てつひに停止となりたる母よ
家保ち来しか最後は鹿も象も寄りて見守る母となりたり
鹿走る春日野を走るわれもまた母より生れしものとして走る
春日野に風吹き渡る新緑の風の渡りを母とし聴けり
父の死に遅れて十年誕生日迎へてすぐに逝きしか母よ
この世にて最後の息する四時間を共にゐたりき母なる人と
駆けつけて四時間を共にゐたりしが孝行となるコロナ隔離下



涅槃図の動物たち（涅槃図の絵説き No.4 生類 @安養寺みんなの仏教より）

春一番

鵜川 迪子

乾きたる春の落葉を集めきて袋に入れる何やらさびし
走りゆき犬は枯れ野の黒土に鼻低くして春を嗅ぎいる
春の陽に両肩も背も包まれて赤信号をゆったりと待つ
うろうろと冬を漂いいる吾を春一番は追いつけぬ
バスタブに眼閉すれば今日の日がゆるり入りゆく思い出の部に

母さんあのね 岡 典子

手のこんだ母手作りのセーターをナフタリンとともに身にまといたり
「ありがとう もう電話いいよ」と母の声耳に残りぬ今になりても
時間経ち母の存在ふくらみぬ そして生活たつきにまじりてしまひぬ
春の空屋根こえて舞う大花火この度閉じる平城高校にささぐ
桜の日娘と過ごす思い出に今年も孫も加わりてゐる



狸とは

覚知 修三

動物に電車ぶつかり止まるとふ人でなければ静かに待てり

案内は他の電車も動物と当たりぬことを放送始む

動物との二度も起こりぬ衝突に狸のことを思ひ出すなり

狸とは番つがひの片方死にたれば残る狸も其そこ処で死すとふ

連れ添ひて死する狸の本能の愛かなしき性さがに心動きぬ

ふるさとの道

川端 和加子

早朝に虫の音ききてめざめたり窓開け放ち寝る心地よさ

この道はなつかしきかな遠き日に友と集ったふるさとの道



オミクロンとウクライナ 田中みや子

ウクライナ何度試練に会えばよい女こどもが国境越える
炊き出しに並ぶ若者あがけども社会を包む閉塞感に

オミクロン爆発的に数ふえる喉ひからびて「コロナか」という

携帯の歩数計にはやされて胞子ほうしこ出やれ彼岸の中日に

(※胞子こ 土筆)

しらじらと今年の桜咲きはじめウクライナの民の涙雨含みて

この夏の枇杷 玉置 小代

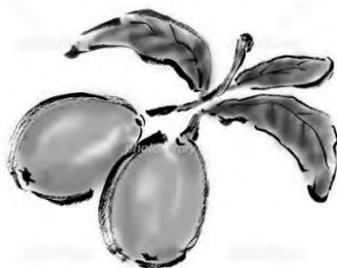
初ものを母の仏前に供ふるを忘れずにあるこの夏の枇杷

事ことあればははそはの母わが背におもいまして優しくわれを励ます

病院に夫をのこして帰る夕おもべ面を上げよと唐楓かえての紅くれない

季ときの移りゆるやかなるか秋めいて返り咲きたる夕顔一輪

つつがなく還暦むかふる長男に孔子の言葉『耳順じじゆん』を送る



生きてし今日も

辻本 典子

おもしろやラジオが届けることの葉よ寿命が尽きて買い替えし日より
ラジオよりカーペンターズが流れ来るあの子があかず唄っていた歌
今日も又 次から次へと雑用が面倒なれども生きてる証か
右に避^よけ左に避^よけて暮らし来た人とはかくもしぶとき者よ
月ヶ瀬へバスを乗り継ぎはるばると湯は柔らかく包みくれたり

ここにいろよ

遠山 京子

オルガンは二年三組にあります窓の向こうは金の麦畑
太ったねさつま芋さん大根君ごらんお月さんまんまる満月
満天の星を見あぐる太古人才才と発ししかアアと発ししか
流れ星まっすぐに落つほろ酔いてわたしゆらららくねくね歩く
「ひいふうみ」たんぼぼ数えてどこに行く？春のまん中わたしここにいろ



歩まむか

中 紀子

夜の更ける音かと思う細き雨降るしずもりにつくづくひとり
抒情歌を口ずさむわれの発声に「ハ行」が下手だと言いしあなた
日の経つとともに積もれるさびしさよ夫の遺せしあまたの楽譜
もう少し暮れゆくこの道歩まむかゆるびし靴紐くくりなおして
踏みゆけば桜落葉のふわふわり土に還らむやさしさに響るな

大またで

野村 道子

足音も水の音さえせわしくなくふと気がつけば今日は十月
なんとなくいいことありそその朝はほほえみわきてワルツロブさむ
大またで歩けば少しねこぜでもしせいよくなる がんばれがんばれ
ひろびろと空ひろがりて歩きゆくぜいたくなとき われすごしけり
乳ガンも「とればなおる」というあなた それでも私まないたのこイ



秋から春へ

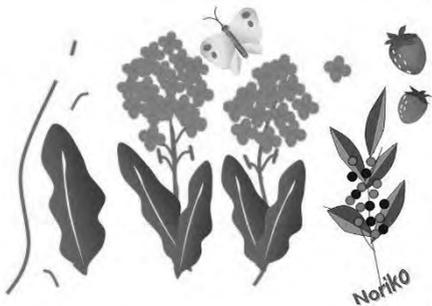
松村 せつ子

車窓から彩^そづき初めし樹々を見秋日和のなか近江路をゆく
今までは一人で出来た布団干し小春日となり夫の手借りる
老いるとはこうゆう事かとしみじみと晩年の母偲ぶ寒き夕べ
梅だよりいかなご漁にお水取りコロナ去らずも春の訪れ
さくら草ルピナスおだまき咲きそろい我が家の庭は一気に春です

露の臺

宮本 郁江

華やかに揚げたる庭の露の臺孫らは苦味も知りくれて春
神功池にそぞろ歩きの人増へてコロナ籠もりも三度^{みたび}目の春
通気窓われは全開夫は五分夫婦模様にも風も馴れをり
伝^{いわれ}磐余の池辺に神功皇后を立たしむも桜花^{おうか}の舞に霞めり
真黄色にミモザの枝垂れ咲く庭に幸せの風流れて来そうだ



【俳句】

大和三山 小谷廣子

- * 谷川の高鳴る闇や螢舞ふ
- * 朝日子の七色放ち蜘蛛の糸
- * たちまちに吹き降りとなり大花野
- * 秋澄むや大和三山まなかひに
- * 列柱に秋の初風大伽藍
- * いくたびも月蝕を見にちやんちやんこ
- * 鯉揚げの池の底ひや朝焚火
- * 発掘の土くれに立つ霜柱
- * 傷多き俎板洗ひ年惜しむ
- * 返り花女人高野の日だまりに



香久山



耳成山



畝傍山



大和三山

八重の桜 有岡 隆子

冬の空宝輪のびる奈良の古寺
ふくらかに八重の桜は今盛り
白桃やゆつくりと剥く薄き皮
露店湯や紅葉ひとひら吾の背に
窓際の苦瓜爆ぜて赤き種

筆納 石野 巖

夕立ちや駅舎の隅に忘れ傘
虫の音に心置きつつ長湯かな
心澄む竜胆の蒼空の青
小鳥来て佳き一日の始まりぬ
筆納添へ書きありし年賀状



切干し 大谷 とし子

冴返る孤高の月は天心へ
歳時記に手垢つきそむ久女の忌
切干の日每香を増し旨味増し
赤ん坊の笑ふ小さき齒小六月
種採りて色と名を記す紙袋

病床抄 相良 哲美

庵の春医療。ポールと茶を啜り
春立つや病床見舞ふ風一陣
梅雨寒し手術の後の傷の跡
冬の夜揺らぐベッドの不協音
願ひ乗せて飛べタンポポよ病窓へ

春愁ひ

杉田 敏江

装束に鉢巻きりり弓始

春の海若き大工の槌の音 巖島神社にて

大文字の灯らぬ火床闇の中

薄紅葉わらべ地蔵は苔の座に

閉校の静まり返り春愁ひ

蝉しぐれ

西脇 岑子

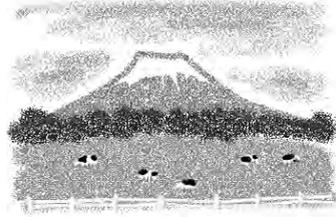
新茶摘み番茶仕上げの茶粥の香

蝉しぐれ雨戸震はす朝もあり

病葉を集めて流す豪雨かな

葦の池渡り遅れの老いの鴨

ゆく秋や湖尻に浮かぶもやひ船



目借時

松村 如洋

夕顔のかすかな香り日の暮れる

銀色の綿毛ふくらむ猫柳

中国語端から忘れ目借時

吹き流し庭に五色の風を呼ぶ

雨上りまぶしく光る額の花

雲の峰

松村 せつ子

怪獣の如湧き立てり雲の峰

秋天や凜と聳える近江富士

里棚田踏まれてもなお犬ふぐり

池の面きらりと光る初氷

夕顔の蔓の伸びゆくみ空かな

初明り

松本義實

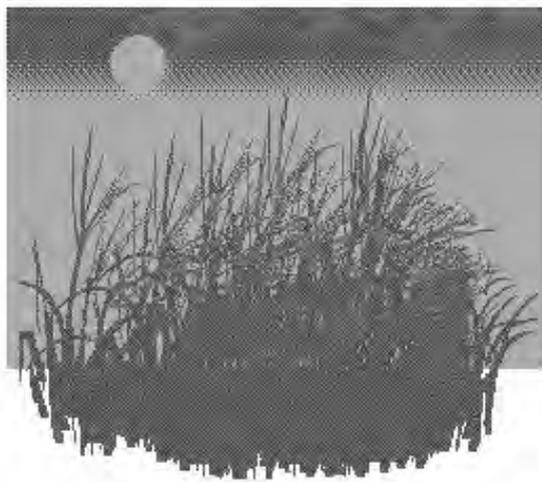
山となり空となりゆく初明り

病床のことさら白き冬障子

春宵の鐘静まりて木々の雨

山並の青迫り来る夏座敷

たそがれのひかり集めて花すすき



【寄稿文】

高の原万葉歌碑 堀口千秋

高の原駅前には万葉歌碑があるのは、皆さん周知のことと思います

秋さらば今も見るごと妻ごひに

鹿鳴かむ山ぞ高野原の上

(秋になったら今も見ているように、妻を恋い慕って鹿が鳴く山ですよ。この高野原の辺りは)

この歌は、万葉集巻一の最後の歌(八四)です。

前書がついていて、寧楽の宮、

長皇子と志貴皇子と、佐紀の宮

にて俱に宴せる歌

(長皇子と志貴皇子と従弟同

士が宴会をした時の歌)

作者は『長皇子』

父は天武天皇、母は天智天皇の

娘大江皇女

もう一つ、第二団地に万葉歌碑

があります。



五十年近く平城ニュータウンに住んでいて、第二団地に万葉歌碑があるのを知らず、最近教えていただいて早速確かめに行きました。

春日なる三笠の山に月も出でぬかも

佐紀山に咲ける桜の花の見ゆべく

卷十一 一八八七

(春日にある三笠の山に月が出ないものかなあ佐紀山に咲いてる桜の花が見えるように)

この歌は旋頭歌で、作者は不明。

旋頭歌とは和歌の一形式で、五七七、五七七の六句からなる歌です。

上三句と下三句とで詠み手

が異なる歌が多い。頭句(上

三句)を再び旋(めぐ)ら

すことから「旋頭歌」と呼

ばれています。

平城ニュータウンに、まだ万

葉歌碑があるようでしたら

教えてください。



「VUCAの時代と星のワッペン」

大阪公立大学 非常勤講師・

化学工学会関西支部 前副支部長・

首席化学工学技士

南 秀典

化学会社を定年退職したあと、縁あって非常勤講師として大阪公立大学の教壇に立たせていただいている。

担当した科目には教科書がなく、講義の中身を思案していたところ、化学工学会のかつての仲間たちからオンライン懇親会の誘いが入った。

七年間、経営者育成講座『経営ゼミナール』と一緒に企画した委員らである。全員が企業人で、社長や役員が多い。その日も話は弾んだ。

「そうか、非常勤講師か。で、何を迷っているんだ。要は自分が学



生に伝えたいことは何なのか、だよ。」

眼からウロコとはこのことか。組織の経営者になるような人は、ここぞというときに吹っ切れる言葉を発してくれるものだ。迷いは雲散霧消した。そのとき、二人の先達の言葉が頭に浮かんだ。

一九七五年の春。京大の新入生歓迎イベント。その日は数学の故森毅（もりつよし）教授の講演とあって、始まる前から会場は熱気につつまれていた。最前列中央の男子学生は肩まで届く長髪。デニムのつなぎの背中には巨大な星のワッペン。ベトナム戦争の時代、米国の若者が徴兵拒否を訴えてやり始めた長髪スタイルは、その頃、日本でも反権力と自由を象徴するファッションになっていた。それはそうと、時間になっても講師が現れない。と、そのときの星のワッペン氏がすくと立ち上がって演壇に向かった。森毅先生であった。

「賢（かしこ）に教わるくらいアホでもできるわ。アホから学ぶんがほんまもんの賢や。」

『賢』とは教科書や教師のこと。『アホ』というのは先生一流の表現で、情報が混沌とした『エカゲンな状態』なのだそう。秀才はエスタブリッシュされたもの、体系化されたものから学ぼうという志向が強い。しかし、それでは教える人がいなくなったら終わってしまうのだ。

何年かして私は社会人になった。最初に配属されたのは化学プラントの設計・建設をするエンジニアリング部

門。当時の新人は手始めに自社のプラント建設で修業をした。設備の据付、試運転。考えて紙に描いたものがつぎつぎと形になっていく臨場感。来る日も来る日も工場に行



森 毅 先生最終講義『1991年』

った。

しかし、それを見ていた上司。「プラントが地球の裏側にあつたらどうするんだ。現場に行かないでも出来るようになれ。」

無理難題であつた。モノづくりの会社では『現場主義』と言い、現地に行つて実物を見よと教育されるものである。行つてみると現場というところはまさに森毅先生のいう『エカゲンな状態』であつた。不完全な情報、浅知恵の外れな議論：。そのとき二人の言葉が繋がつた。

そうか、二人とも不確実なものから本質を学びとる能力のことを言つていたのか。ふらつと現場に現れて、「どや?」と一言だけで立ち去り、責任を負つてくれたかつての上司たちの懐の深さ。今となつては感謝である。

その場で理解できない言葉も、捨てずに頭の中で飼つておくのがいい。いつの日か熟成して芳醇な香りを放ち、人生の道案内をしてくれることもある。

きっと、その人なりに吸収できる潮時がくる。

現代という時代は分かり易さをもてはやし、考
えることから逃げようとしている。大量の規則、
マニュアルは人間から思考力を奪っていった。い
まだに大量生産時代の、『スピードと効率主義』

という旧態依然としたパラダイム。検索すればす
ぐ分かることから創造は生まれてこない。本物に
は歯ごたえがある。手っ取り早く理解できるもの
にはたいてい一番大事なところが抜けているもの
だ。現代社会には不完全で混沌とした膠着状態へ
の耐性もつと必要ではないだろうか。

たぶん、人間というものは定常状態にあるもの
を固定した座標軸を通して見ていないと不安なの
だろう。先行き不透明な時代、VUCAの時代と
言われるが、この先どこまで行っても先行き透明
な時代などやっつてはこない。

いまこそ、非平衡、非定常、非線形という世界
観をもった化学工学の再登場のときだ。『エエカ
ゲンな状態』の中で活躍できる若者の育成に何か
お役に立てれば、と最近思う。

【この文は、ZPO 法人テクノメイトコープ機
関紙『環』二〇二一年春号（七七号）に巻頭言と
して掲載されたものを一部改変したものです。】



『注記』

VUCAとは、Volatility（変動性）、
Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑
性）、Ambiguity（曖昧性）の四つの単語の頭文
字をとった造語

「奈良中国帰国者支援交流会」

奈良中国帰国者支援交流会副会長

梅原健一

一、一九四五年の敗戦の混乱で多くの日本人が旧満州に残されました。

一九七二年に日中国交が正常化し、一九八〇年～九十年代に永住帰国が進みその家族も来日しました。帰国後は言葉の壁、就労の困難に直面、日本社会にも馴染めず苦勞が絶えない生活状態でした。「奈良中国帰国者支援交流会」は、彼らの直面する日常の問題をよく理解し相談し、親睦を深めて交流を図って行こうとの趣旨で二〇〇三年（平成十五年）に設立されましたボランティア団体です。今年で十八年目を迎えます。

毎土曜日、奈良市生涯学習センターに於いて、日本語教室・風習・文化・クラフト・料理・ゲーム・音楽等を企画し実施しています。加えて郊外学習（農園収穫祭、バス県外研修）、地域

社会との交流学習（サンウリム、佐保まつり、平城旧跡散策）にも参加しています。

毎年度の期末には奈良県の職員にも御来席頂き、「作文発表会」を開催しています。

*二度と戦争はしないでほしい。

*今は周りの人に感謝。

*日本語が上手になって日中がもっと仲良

くなれるように。

*コロナが怖くて外出できない。

*病院へ一人で行って薬を貰える

ようになりたい。

と言う様な発

表はとても重

いものを感じ

ます。

現在、帰国者支

援交流会への

登録人数は六

四名ですが、こ

の日本語学習



<https://narakikokushasien.com> ホームページ

教室への出席者は、常時三十名程で、殆どが当時の両親とともに来日された帰国者二世達です。

二・私は五年前の二〇一六年四月、「奈良市社会福祉協議会・ボランティア・センター」の推挙で、この「奈良中国帰国者支援交流会」に入会し現在に至っております。終戦後、父が旧満州から帰国し、私が一九四七年に生誕しました。（団塊世代一号）

また三十六年前・一九八五年に初めて上海、江苏省（南通）、浙江省（寧波・杭州）へ出張しました。

改革開放政策によって急ピッチで近代化が進みつつある現地の現実を目の当たりにし、
”これからは中国ビジネスだ！”と確信した事でした。

三・近年、帰国者（一世・二世）も支援者も高齢化し、残された時間にも限りがあります。

皆様どうかこのボランティア活動にご賛同頂きご理解いただければ有難いです。

寄稿 俳句

谷村 頼迪

水打てば庭の草木の騒めきぬ

大の字の身に余すなき蝉時雨

酒交はす兄弟八十路遠花火

マンションの窓金色に大西日

琴の音の幽か漏れ来る青すだれ

風呂上り大胡坐にさあ冷奴

一斉に蝉鳴きだして雨あがる

ひと夜明け月下美人の力尽く

雨戸繰り全身で知る今朝の秋

第39回 平城ニュータウン文化祭

開催日 2021年11月6日(土)・11月7日(日)・11月8日(月)
時間 10時~17時(但し11月6日は13:00開場、8日は16時まで)
会場 奈良市北部会館3階 市民文化ホール

講座・同好会の作品展示会



主催 平城ニュータウン文化協会
奈良市北部会館市民文化ホール

ご挨拶

昨年に引き続き世界中がコロナ禍の状況が収まる気配がない状態ですが、会員及び市民文化ホールのご協力で規模を縮小して、第39回平城ニュータウン文化祭開催の運びとなりました。

大変な状況下ですが、地域の皆様と共に文化祭を楽しむことは何よりも嬉しい事です。

昨年度と同様に式典及び記念講演会を中止し、舞台上演や各講座・同好会の活動状況をDVD映像で紹介することを幅広く取り入れ、更に作品展示を主体に、地域で活動している各種グループによる力作を觀賞して頂きたく思います。

活動時間に制約を受けながら、コロナ対策を進めながら開催いたします。

お力添え下さった奈良市北部会館市民文化ホール、各自治連合会など多くの方々に厚くお礼申し上げます。今後も平城ニュータウン文化協会は「地域文化の発展」に寄与できるよう努めてまいります。

なお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

平城ニュータウン文化協会
会長 日比野 豊

ご挨拶

今年も「平城ニュータウン文化祭」が始まります。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために39回目を迎える本年も開催規模は昨年と同様に縮小することになりますが、コロナ禍の中でも活動を続けてこられた会員の方々や地域のグループの皆様の作品展示・活動の上映を楽しんでいただけることと思っています。

お越しいただいた方に「ワクワク」や「ドキドキ」を感じていただき、発表する方たちの活力や励ましになり、関係する人々みんなが喜びを感じられる文化祭を楽しみにしています。

開催にあたってご尽力された平城ニュータウン文化協会や各地区自治会の皆様に感謝いたします。

明るく活気あふれる街の文化活動の拠点になるように、世代や地域社会のコミュニティの維持・形成の役割を果たすように北部会館市民文化ホールはなお一層の努力を続けます。

今後も引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、文化祭の成功並びに平城ニュータウン文化協会、関係各位のご健勝とご活躍を祈念してご挨拶とさせていただきます。

奈良市北部会館市民文化ホール
事務長 小南 元久

日時 11月6日(土)・7日(日)・8日(月) 午前10時～午後17時
(但し11月6日は13時開場、8日は16時閉場)

展示 作品展示・パネル展示・ビデオ放映

会場 奈良市北部会館3階 会議室 多目的室他

作品展示とグループ紹介

◆ 古文書を読む会 リーダー 石川恒久

長引くコロナ禍により家で過ごすことが多くなりましたね。その時間を古文書の学習に当ててみませんか。地域に根付いて早18年目。活動の柱であるリーダーが、どんな資料を、いつ用いたら会員の読解力が向上するかを、常に考えながら作成して下さったテキスト（武家文書、地方文書、旅日記、瓦版等々）と参考資料も全て閲覧できます。古文書をかじったことがある方はもちろん、全く見たこともない方も、是非一度展示室を覗いてみてください。

戦国時代から近世末までの人々が生きた証を読み解いて、歴史を遡る旅をしましょう。

例会は月2回、第2第4土曜の10時～11時半です。会員一同笑顔でお待ちしています。



◆ 俳句を楽しむ会 講師 小谷廣子

小谷廣子先生を囲み、月一回、自作の句を持ち寄り句会を開いています。和気あいあいとした楽しい会です。また、コロナが収まったら、以前のように歳時記を片手に吟行にも出かける予定です。

今年の作品も、この一年間に作句した中から、各自の好きな句を選び出展しています。

出展者：小谷廣子先生・有岡隆子・石野巖・大谷とし子・
相良哲美・杉田敏江・西脇岑子・松村如洋・
松村せつ子・松本義實



◆ 短歌を楽しむ会 講師 榎原 聰

ちょっと心が動いた時、それを三十一文字に表す短歌。今まで、自分の日記だと思っていましたが、相手に伝える手紙だと知らされました。

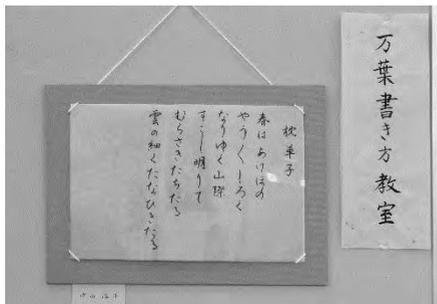
ご指導いただいている榎原先生は、歌人であり、国文学の研究者でもあります。一人一人の短歌に、温かい助言をしてくださり、会全体が和やかです。しかし、コロナ禍で十分に活動できていません。コロナが収まり、安心して集える日を待ち望んでいます。



出展者：櫛原 聰先生・鶴川迪子・岡 典子・覚知修三・
川端和加子・近藤好廣・阪上 元・田中みや子・
玉置小代・辻本典子・遠山京子・中 紀子・野村道子・
松村せつ子・宮本郁江

◆ 万葉書き方教室 講師 中西温子

万葉集からは、額田王以後、最大の女性歌人 大伴坂上郎女
(おおとものさかのうえのいらつめ)、百人一首からは、僧侶の歌
を仮名で作品にしてみました。



月に一度 右京ふれあい会館
で、万年筆、ペン、筆ペンなどで
書くことを楽しんでいます。書いた
字が次第に上手になり、ほめら
れるとやる気が出ます。日常に、
向上心と豊かなひとときを…。

講座開催日 第4土曜日 | 3時半
～ | 5時

場所 右京地域ふれあい会館

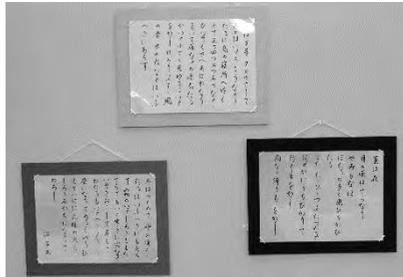
出展者：講師 中西温子・

池田八重美・石山悦子・

魚野久江・大西誠子・

岡田君江・岡田知枝・熊本悦子・中嶋幸子・中西恵子・

中野美恵子・西村絢子・馬場恭子・吉田克治・柳本恵子



◆ 絵画・絵手紙の会 リーダー 日比野 豊

絵画・絵手紙の会は、現在絵手紙コースとして会員は10名ほど
で、毎月2回各自が好きなモチーフを持ち寄り、面白く・おかしくな
るように工夫しながら「画仙紙」に絵手紙に仕上げています。

モチーフは、野菜・くだもの・お花・野草・置物・アクセサリ

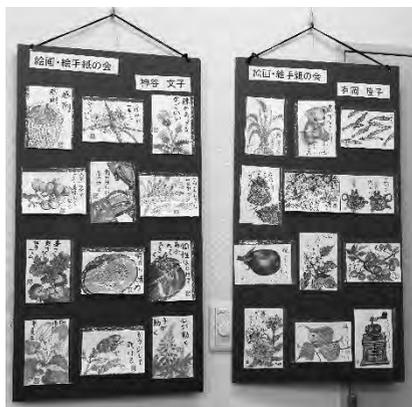
等々何でも題材になりますので、「へたでいい、へたがいい」をモットーに描いています。基本的にモチーフは各自持参しますが、色々なモチーフがありますので、会員同士でモチーフを交換しながら描いています。

初めての方も、ご興味のある方は是非見学に来てください。

毎月二回、火曜日の午前中に北
部会館でやっています。

展示は今年も絵手紙中心で、各
人、今まで描いた作品から12枚
を選定して展示しました。

出展者：日比野 豊・中野美恵子・
西村絢子・藤田二三子・
熊本悦子・島川恵美子・
神谷文子・有岡隆子・
千葉さち子



◆ IT を楽しむ会 リーダー 明政文男

「IT を楽しむ会」は、スマホの取り扱いやアプリの操作、またはパソコンおよび電子機器一般に関して習ったり、お互いの情報を交換したりする勉強会です。

スマホとパソコンのクラスがあり、全くの初心者の方にもわかりやすい基礎クラスもありますので是非ご参加ください。なお、機材はご自身でご用意してください。

この会は特別な事情がない限り、毎月第1、3火曜日の午後1時から右京ふれあい会館で開催しています。また、分科会として「電子工作同好会」も毎月第3月曜日午後1時から右京ふれあい会館で活動しています。見学



は、毎回受付けておりますので是非会場へお越しください。

文化祭の会場では、自動で障害物を回避して走行する車と、カメラに顔向けるとその人の表情から、その人の気分を色のライトで表現する展示を予定しています。

これまでの活動は、下記のホームページをご覧ください。

<https://www.7crystalsky.com/>

◆ トールペイントばらの会 講師 西本直江

今年は皆さん時間をかけて作品を仕上げてください、風景額や床の間飾り等、何ヶ月もかけて素晴らしい作品を作ってください。例年通り、日用使いの作品も出品します。

会員が少なくなった分、淋しいですが、先生にじっくりと指導していただけて有難いことです。

出展者：西本直江・有岡隆子・奥谷敏子・久保紀子・棚田博代・
中野美恵子・近泉良子・西本万優美・松村せつ子



◆ 折り紙を楽しむ会 リーダー 熊本悦子

昨年来からのコロナ禍がなかなか収束しない状況下で、当会は感染防止の観点から自粛して休会するに至っています。

再開の目処が立ち、また皆さんと和気藹藹と活動出来ることを待ち望んでいます。

自粛中各自で折った作品もご披露出来るのではないかと思いますので、是非ご覧頂けたらと思っています。

出展者：浅井明子・新司輝江・石野由紀子・魚野久江・
加藤僊三恵・木下ミエ子・熊本悦子・塩田香代子・
篠原ひろみ・関山志ず江・谷口三枝子・寺谷征子・
徳田弥栄子・永瀬善子・中西美代子・中野美恵子・
永松笑子・中村勝子・永吉佐香恵・西川治美・西村絢子・
古畑美佐子・山形幸枝



◆ 押し花とプリザーブドフラワーを楽しむ会 講師 高橋かおり

今年もコロナ対策の為、通常より短い時間でのお教室でした。そんな中でも皆様お花をたくさん押し花にして今年もアイデア満載の素晴らしい額が出来ました。可愛い押し花を使った小物も展示します。プリザーブドフラワーはまるで生花のようなお花を使ったアレンジが並びます。

今年も素敵な作品を是非ご覧ください。興味のある方は下記活

動日に見学に来て

ください。
活動日：月一回、
第4水曜日 場
所：右京ふれあい
会館

時間：10時～15
時30分まで



出展者：伊藤京子・奥谷敏子・木村絢子・鈴木佐知子・野原雅子・
吉田敬子・森山満里子・中岡美幸・高橋かおり

◆ パッチワーク研究会 リーダー 打田照子

2年続きで縮小の文化祭ですが、教室の仲間は外出自粛。この時とばかりに、家に眠っている布や服を整理し、思い出の布を使い、自分の家や部屋にぴったりの作品に仕上げています。マイペースで楽しい教室をモットーにしています。

出展者：打田照子・住吉紀子・阪本千賀子・榊原厚子・
植倉裕子・白澤寿美・谷口三枝子・成田美智子



◆ わくわくニット リーダー 松岡好子

手編み同好会から装いを新たに「わくわくニット」としてスタートし、3年目になりました。昨年・今年と新型コロナウイルスによって途中お休みを余儀なくされました。やっとお稽古が始まり、新しい仲間の吉本さんを迎えたのが一番嬉しい出来事でした。



例年に比べ出品作品が少ないかもしれませんが、皆さんの情熱のこもった作品が出品されています。どうぞご覧になってください。

活動日は、月一回、第1木曜日、高の原駅前団地集会所 | 3時～ | 5時です。

出展者：堀口千秋・島川恵美子・笥 ゆり子・鷺尾牧子・
渡辺直子・大西洋子・榊原厚子・松岡好子・杉谷幸代・
成田美智子・吉本三智代・村岡敏子

パネル展示によるグループ活動の紹介

◆料理を楽しむ会 講師 松村せつ子

コロナ禍の影響で、今年も満足な活動が出来ず残念です。会食は禁止されていますので、作った料理は持ち帰りですが、それでも皆さん参加して下さるので、出来る限り活動したいと思っています。

公民館祭りのバザーも、文化祭のコーヒー喫茶も今秋、中止となりました。コロナが終息すれば、皆さんと料理作りを存分に楽しみたいと思っています。



◆飛鳥学 講師 木下正史 (東京学芸大学名誉教授)

講座は、基本毎月第1水曜日午前10時から11時半まで、北部会館3階多目的室1で開催しています。

飛鳥学講座では飛鳥・藤原京地域の歴史を中心に日本の歴史を学びます。

飛鳥・藤原宮は、推古女帝が592年豊浦宮で即位して以降710年（和銅三年）に元明天皇が平城京に遷都するまで120年間日本の政治と文化の中心でした。激動する東アジア情勢の中で百済との長年にわたる交流で仏教や道教など多くの思想や文化・知識・技術を受け入れ、律令国家が成立しました。それまでの巨大古墳造営の時代は646年（大化2年）の薄葬令により墳陵は小型簡素化しました。

現在の講座テーマは『考古学で探る「日本国」の誕生－日本最初の本格的宮殿・藤原宮と新益京しんやくのみやこから探る－』を教材として学んでいます。また講義中には、先生から考古学の最新情報や発掘調査の経験談など多岐にわたるお話をして頂けます。

年に一度は『ミステリーツアー』で遺跡を現地訪問します。2020.11.4は「佐紀古墳群西群と松林苑跡をめぐる」で佐紀古墳群は平城山丘陵の南部にあり前方後円墳20基以上、大型円墳3基以上からなる大古墳群です。また、2021.5.19は「牽牛子塚けんごしづか古墳と西飛鳥（真弓・越）の古墳」で後期古墳・終末期古墳時代の小型化した古墳が多く、斉明天皇陵の八角墳があり、また渡来系氏族の東漢氏の首長墓などを見学しました。奈良県にはこのような貴重な遺跡がたくさんあります！さあ皆さん、一緒に学びましょう！
出展者：飛鳥学 松本和英



◆ 源氏物語を読む会 講師 浅田知里

人は言葉に願いを掛ける。
東京五輪の間も、「安心、安全な」という言葉を何度聞いたことか。残念なことに、コロナの感染は爆発的に広がり、国中が危機的な状況に陥っている。



国会図書館デジタルコレクションより

講座も、役員の方々や会員の皆様方に甘えて、休眠状態のまま2年目に入った。

『源氏物語』が書かれた平安時代は、「平和で安らかであれ」と願って名付けられたという。平安時代がその名の通りの平安ではなかったらしいことが、今手に取っている藤原道長の日記にも散見される。

それでも人は言葉に願いを掛ける。コロナが早く終息して講座が再開できますようにと。

◆ 英語講座 講師 橋本友子

前半のテキストは、実際に中学校で使用されている教科書をずっと使ってきましたが、小学校に英語が導入され、更に、教科となって、当然ながら、中1用でも初心者用ではなく、文法も内容もかなり程度の高いものになっています。今使っているSunshine 2 (開隆堂)は、とりわけ中味も深く豊かで、昔の中学生にとっては興味深く、手応えのある学習ができます。

中間で、子どもの遊び歌2曲を含む下記の6曲を皆で歌います。なかなか覚えきれないのですが、毎回2回ずつ歌って、1年でアガリです。(次の年は新しい歌に挑戦です。)

歌の後は、一口話のような易しいjokeと、皮肉のきついいわば大人のjokeを2～3話ずつ読んで笑います。(といってもなかなか直ぐには笑えないものも多いのですが・・・)

その後、listening で、米国の日常生活の短い紹介文を聞き、質問に答え、書き取り (dictation) まで、全部やりたいのですが、途中で時間切れになってしまい、次回まわしになることも少くありません。

1. Eeney, Meeny, Miny, Mo
2. The Mulberry Bush
3. Killing Me Softly With His Song
4. My Favorite Things
5. Green Green Grass Of Home
6. North Wind

参加者：荒川成子・井口実津子・井上裕子・大浦貞子・熊田てる子・小嶋良子・佐川道夫・杉山幸平・津坂恒子・中西章人・村田民子・山崎節子



◆ ゆっくり歩こう会 講師 小嶋敬二郎

「ゆっくり歩こう会」も2010年5月から歩き始めて11年になりました。

それぞれの行き先の季節の草木、名所旧跡・風土を愛でて味わい、皆様は楽しく最後まで元気に歩いています。平均10km前後です。講師の小嶋先生には毎回コースを考えて頂いています。

開催日は「年7回で 1、5、11月の第3日曜日、4、6、9、10月の第1日曜日」とする。雨天の時は1週間の順延です。スマホをお持ちの方朗報です。



1日6000歩 歩いたら、奈良市ポイント(奈良市在住の方)がもらえます。(奈良市ポイントを申請し、専用アプリをダウンロードする必要があります。)文化祭の壁面展示では過去に開講したコース・写真を掲示していますので是非ご覧ください。



◆ 中国語同好会 講師 宿 俊明 (一部)・北崎光一(二部)

今年はコロナ禍の為、十分な同好会活動が出来ていませんが、皆さん元気です。消毒、マスクをし、窓開け換気をしながら活動しています。

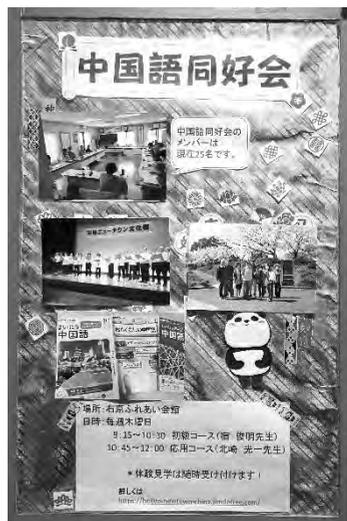
毎週木曜日に右京ふれあい会館(旧館)にて、午前9時15分から10時30分までが一部入門クラス。10時45分から12時までが、二部上級クラスです。

入門クラスは「NHK まいにち中国語」を教材とし、中国語の四声発音、上級クラスは漢詩を中心に学んでいます。

コロナ禍が終わったら、いつも通り、カラオケ、飲みにケーションと幅広い年齢層で、和気あいあいとした雰囲気を楽しむつもりです。

是非、見学にお出で下さい。

中国語同好会 神澤 章



◆ 歌声サロン 講師 小島 順

♪歌を忘れたカナリヤは 後ろの山に捨てましょか、小藪に埋めましょか、柳の鞭でぶちましょうか・・・♪ 大正8年西條八十さんが、詩を書くことに苦慮していたご自分に対して厳しくカナリヤに例えています、ところが後半は軽やかに3拍子で♪象牙の船に銀の櫂 月夜の海に浮かべれば、忘れた歌を思いだす♪ 人間に例えて、現代的に言えば、温泉でも行って舌づつみをうち、リフレッシュすることが大切やないかなと詠っているようです。

皆様も今は歌を忘れかけていらっしゃるのではないのでしょうか？

マスクを外し、アルコール手洗もせず、自由に旅行し、親兄弟、友人と会える日々が来ることで、歌も思いだし思いっきり声を出せる日が、きっと来ることを確信して、頑張りましょう！



◆ 朗読を楽しむ会 講師 辻本典子

朗読を楽しむ会も2年目に入り、皆 頑張って上達しています。

御指導下さる辻本先生の素敵な着物姿も楽しみです。先生が選んで下さる本はどれも興味深く、感慨深い物があります。

これからも もっと練習して 上手に読める様になりたいと思います。

世話役 真中礼子



ビデオ放映



◇ 歌声サロン



◇ 英語講座



◇ 中国語同好会



◇ 朗読を楽しむ会



◇ 絵画・絵手紙の会



◇ ゆっくり歩こう会



◇ IT を楽しむ会



◇ 万葉書き方教室



◇ 古文書を読む会



◇ 短歌を楽しむ会

(注)上記 YOUTUBE の期限は 2023 年 7 月末迄です。

平城ニュータウン文化協会第40回（2022年度）総会

総会 は新型コロナウイルス感染症予防のため
中止となりました。

第40回 総会議案書は書面での総会となりました。

以下に総会資料を記載しますので、2021年度の活動状況並び
に2022年度の活動方針等お読みいただき、文化協会の活動に
今後もよろしくお願いいたします。

2021（令和3年）年度 事業報告

- 令和3年4月17日(土) NEWS No.1 印刷・発行（5・6月の予定）
役員会①（コロナ禍での総会と会費について）
総会は中止とし「層富」は発行する
5月16日(日) 文化協会総会は中止とし、資料の発送・HP掲載する
5月22日(土) 第1回「層富」編集会議
6月05日(土) 第2回「層富」編集会議
6月19日(土) NEWS No.2 印刷・発行（7・8月の予定）
役員会②（コロナ禍での文化祭について舞台上演は中止とする）
理事への総会資料配布
7月18日(日) 第1回理事会（文化祭について、ビデオ紹介の募集）
「層富」No.38 発行
8月21日(土) NEWS No.3 印刷・発行（9・10月の予定）
役員会③（来賓への文化祭挨拶状と文化祭準備の検討）
9月4日(土) 第1回文化祭実行委員会（コロナ対策とプログラムの校正）
10月2日(土) 第2回文化祭実行委員会（ポスターの配布）
（展示会のみを進め方について）
10月9日(土) NEWS No.4 印刷・発行（11・12月の予定）
プログラム印刷、地域への回覧、招待状配布
役員会④ 文化祭開催準備確認
11月6日(土) 第39回文化祭開催 開会式と記念講演を中止
作品展示のみ開催（AM8:45～準備開始）
11月7日(日) 作品展示
11月8日(月) 作品展示
12月4日(土) 第2回理事会 文化祭反省会
12月18日(土) NEWS No.5 印刷・発行（1・2月の予定）
役員会⑤（次回理事会について、層富原稿依頼について）
（会長辞任申し出による今後の対応について）
令和4年2月19日(土) NEWS No.6 印刷・発行（3・4月の予定）
役員会⑥（新講座の募集、役員改選、総会準備について）
会長選出選挙方法について検討
3月20日(日) 第3回理事会（新旧理事出席）

2021年度 決算報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入の部

単位・円

項目	予算	実績	増減	備考
前年度繰越金	¥169,466	¥169,466		
会費	¥345,000	¥316,000		224名
後援費	¥50,000	¥50,000		4連合会と右京4.5丁目
雑収入	¥60	¥3,603		銀行利息他
			¥0	
合 計	¥564,526	¥539,069	(¥25,457)	

支出の部

項目	予算	実績	増減	備考
事業費	¥170,000			
内訳 文化祭共催費	¥55,000	¥27,720	(¥27,280)	文化ホール使用料
記念講演	¥30,000	¥0	(¥30,000)	講演会中止
司会者・スタッフお礼	¥25,000	¥0	(¥25,000)	講演会中止
接待用茶菓子・他	¥30,000	¥12,862	(¥17,138)	
5月講演会代	¥30,000	¥0	(¥30,000)	講演会中止
小計	¥170,000	¥40,582	(¥129,418)	
会議費	¥25,000			
内訳 会場費	¥20,000	¥15,400	(¥4,600)	
資料代・他	¥5,000	¥720	(¥4,280)	用紙、封筒
小計	¥25,000	¥16,120	(¥8,880)	
広報費・事務費	¥290,000			
内訳 層富会誌	¥250,000	¥240,240	(¥9,760)	350冊
インク代・コピー用紙他	¥30,000	¥29,509	(¥491)	ニュース印刷用・他
事務用品	¥10,000	¥0	(¥10,000)	
小計	¥290,000	¥269,749	(¥20,251)	
通信費	¥5,000	¥882	(¥4,118)	郵送料
渉外費	¥2,000	¥3,040	¥1,040	奈良大手土産
雑費	¥1,000	¥970	(¥30)	振込手数料他
予備費	¥71,526	¥0	(¥71,526)	
次期繰越金	¥0	¥207,726	¥207,726	
合 計	¥564,526	¥331,343		
総 計		¥539,069		

積立金合計 ¥90,199

定期預金 ¥200,000

会計監査報告

2021年度の会計帳簿、証票類他、関係書類等を精査した結果適正であることを認めます。

2022年3月31日

監事

打

(打) 田子

谷口

(谷) 三枝子

令和4年度 組織

理事
 明政文男 荒川成子 荒川信彦 石野由紀子 (敬称は略・アイウエオ順)
 打田照子 岡典子 神澤章 川崎泰子 彌田智一 池田八重美
 小島順 榊原厚子 相良哲美 佐川道夫 北島忠
 中嶋一樹 成田美智子 日比野豊 真中礼子 鈴木佐知子 谷口三枝子
 柳博文 渡辺直子

組織分担

顧問 日比野豊
 会長 明政文男
 副会長 相良哲美 荒川信彦
 事務局長 岡典子
 会計 石野由紀子
 監事 打田照子 谷口三枝子
 広報部 部長 佐川道夫 副部長 彌田智一
 行事部 部長 柳博文

部員及び配布委員

広報部 佐川道夫 明政文男 打田照子 岡典子
 (層富編集) 杉田敏江 谷口三枝子 日比野豊
 行事部 柳博文 神澤章 北島忠 鈴木佐知子 彌田智一
 中嶋一樹 荒川信彦 松村せつ子 北島忠
 (その他理事 全員協力)
 配布部 石野由紀子 榊原厚子 荒川成子 川崎泰子 谷口三枝子
 真中礼子 渡辺直子 成田美智子 池田八重美

配布委員

袖功地区 (谷口三枝子)
 カーテンハウス 藤澤陽子 3丁目 谷口三枝子
 1丁目 橋本友子 4丁目 柳本恵子
 2丁目 永瀬善子 5丁目 西脇岑子

右京地区 (熊本悦子)
 第2団地 北崎光一 辻本典子
 右京団地 中嶋幸子 熊本悦子 村岡敏子 森礼子
 3丁目 山本喜代美
 4丁目 熊本悦子
 5丁目 真中礼子

朱雀地区 (吉田克治)
 1丁目 赤堀律子 富田三千子
 2丁目 打田照子
 3丁目 大槻順子
 駅前団地 榊原厚子 岡典子
 4丁目 赤井博
 5丁目 鷲尾牧子
 6丁目 大久保里美
 第1住宅 西村好子

左京地区 (相良哲美)
 1丁目 杉田敏子
 2丁目 熊田照子
 3丁目 中野美恵子
 4丁目 安藤英彦

佐保台地区 (神谷文子)
 2丁目 神谷文子

木津川市 (川崎泰子)
 相楽台 富江八重
 相楽台2丁目 南秀典 魚野久江 荒川成子
 兜台 川崎泰子

2022（令和4）年度 事業計画(案)

はじめに

平城ニュータウン文化協会は、講座・同好会、文化祭及び講演会の開催、会誌「層富」および文化協会ニュースの発行などを主たる事業として活動しています。講師・リーダーの先生方にはボランティアでご指導頂いており、会員は自由にいくつもの講座・同好会を受講できるのも大きな特徴です。

しかし一昨年から新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、文化協会の総会や文化祭の式典・記念講演会の中止や、講座の休講や縮小などが続いています。

現在19の講座・同好会が開設されていますが、コロナ対策を進めながら可能な限り、今後も講師・リーダー、各会員はじめグループ代表の方々、各自治連合会、北部会館など多くの方々にご支援いただき、会員及び地域の皆様と共に、様々な文化活動を楽しみたいと思います。そして「地域文化の発展に寄与」できるよう努めてまいります。

事業計画

1. 趣味、学術、芸術などの文化講座の開催

優秀な講師やリーダーのご指導により、ユニークな20の講座・同好会を開催します。

2. 「第40回平城ニュータウン文化祭」の開催（コロナ禍の状況により中止もあります）

開催日 令和4年11月5日(土)・11月6日(日)・11月7日(月)

会場 奈良市北部会館3階市民文化ホール

共催 奈良市北部会館市民文化ホール

内容 各講座・同好会の作品展示と舞台発表

3. 「第40回平城ニュータウン文化祭記念講演会」(コロナ禍の状況により中止もあります)

会員と地域の皆さんが特に関心を寄せておられる問題をテーマに講演会を開きます。

4. 「平城ニュータウン文化協会 NEWS」の発行（隔月）

講座・同好会の開催日時、内容、活動状況をご案内します。

各自治会のご協力を得て、全自治会の皆様に年2回（4月、10月）NEWSを回覧します。

5. 会誌「層富」No.39の発行

講座・同好会の活動、研究結果の発表および各種情報などを掲載します。

6. 平城ニュータウン各自治会、自治連合会など地域団体との連携、協力

各自治連合会など地域団体の活動や催しに積極的に参加協力し、地域文化の発展に寄与します。

7. 会員の増強と財政の安定化

平城ニュータウンの方々に講座・同好会など文化活動への参加を呼びかけ、組織の強化をはかり、文化協会の活力を高めます。

2022年度 講座・同好会一覧

2022.3.27現在

	定期講座・同好会	講師・リーダー	世話人 連絡先	曜日	時間	予定会場
1	古文書を読む会	石川 恒久	柳本 博文 0742-71-0813	第2・4土曜	10:00～12:00	右京ふれあい会館
2	飛鳥学講座	木下 正史	中嶋 一樹 090-8989-1125	第1水曜	10:00～11:30	北部会館3階多目的室1
3	源氏物語を読む会	松津喜美子	榊原 厚子 0742-87-2420	第1・3土曜	10:00～11:30	右京ふれあい会館 or 北福祉センター2階
4	英語講座	橋本 友子	佐川 道夫 0742-71-7709	毎月曜	初級 9:30～10:35 中級 10:15～11:30	右京ふれあい会館
5	中国語同好会	宿 俊明 北崎 光一	彌田(いよた)智一 090-3522-6069	毎木曜	入門 9:15～10:30 応用 10:45～12:00	右京ふれあい会館
6	俳句を楽しむ会	小谷 廣子	相良 哲美 0742-31-3976	第4水曜	13:30～15:30	北福祉センター2階
7	短歌を楽しむ会	榊原 聡	岡 典子 090-4289-8140	第2火曜	13:30～16:00	北部会館3階会議室3
8	わくわくニット	松岡 好子	成田 美智子 090-4287-4868	第1木曜	13:00～16:00	高の原駅前団地集会所
9	絵画・絵手紙の会	日比野 豊	日比野 豊 0742-71-9786	第1・3火曜	9:00～12:00	北福祉センター2階
10	料理を楽しむ会	松村 せつ子	川崎 泰子 0744-72-9399	第3木曜	9:30～12:00	平城西公民館
11	歌声サロン	小島 順	北島 忠 0774-51-2064	第2金曜	10:00～11:45	北部会館3階多目的室1
12	パッチワーク研究会	打田 照子	打田 照子 080-5310-0714	第1・3金曜	13:00～16:00	北福祉センター2階
13	押し花とブリザーブドフラワーを楽しむ会	高橋 かおり	鈴木 佐知子 0742-71-1690	第4水曜	10:00～15:30	右京ふれあい会館
14	折り紙を楽しむ会	熊本 悦子	谷口 三枝子 0742-71-6178	第2火曜	10:00～15:00	右京ふれあい会館
15	トールペイントばらの会	西本 直江	松村 せつ子 0742-71-9605	第2水曜	13:00～16:00	平城西公民館
16	ゆっくり歩こう会	小嶋 敬二郎	柳本 博文 0742-71-0813	実施 1.4.5.6.9.10.11 月	概ね第1日曜	その都度決定
17	萬葉書き方教室	中西 温子	池田 八重美 0742-49-8578	第4土曜	13:30～15:00	右京ふれあい会館
18	ITを楽しむ会	明政 文男	明政 文男 080-3856-2108	第1・3火曜	13:00～16:00	右京ふれあい会館
19	朗読を楽しむ会	辻本 典子	真中 礼子 0742-71-7339	第4金曜	10:30～12:00	北部会館3階会議室
20	電子工作同好会	明政 文男	明政 文男 080-3856-2108	第3月曜	13:00～15:00	右京ふれあい会館
21	ウクレレを楽しむ会	ビデオレッスン	明政 文男 080-3856-2108	第1・3金曜	9:30～11:30	アルス高の原小会議室
22	太極拳と歩き方	岡 典子	岡 典子 090-4289-8140	毎週土曜日	7:30～8:30	朱雀公園時計台の下

平城ニュータウン文化協会

令和3年度 第2回理事会（文化祭反省会）議事録

2021.12.4 事務局

開催日 令和3年(2021)12月4日(土) PMI ; 30~2:30

場所 北部会館3階 会議室2・3

出席者 (会長)日比野 (副会長)荒川信 (副会長)相良 (副会長)明政
(24名) 理事:荒川成 石野 打田 岡 大槻 大西 川崎 神澤 熊本 小島
榑原 佐川 鈴木 谷口 中嶋 松村 真中 柳本恵 柳本博 渡辺

欠席者 中西

議題

1、令和3年度 第39回平城ニュータウン文化祭の反省

行事部 柳本部長から、「第39回平城ニュータウン文化祭の反省会」（別紙資料）が配布され、補足説明と理事の意見が聴衆されました。以下に補足説明および意見を列挙します。

① 来場者

2021年	11月6日	11月7日	11月8日	合計
	163	134	156	453

2020年は、443名

2021年	神功	右京	朱雀	左京	奈良市 その他	兜台	相楽台
	72	96	102	33	53	30	28

- ・ニュース等回覧している地区 神功・右京・朱雀・左京・相楽台ではニュース等回覧を見て来場した方が多くその効果があった。
また新入会員も5名程増加してきた。
- ・和室でのビデオ放映は、ビデオスクリーンを使い大きく見やすかった。

② 準備作業

9月10月の2回、実行委員会を開催。プログラム、ポスター、横断幕等は例年通り実施。例年の来賓には、開会式・記念講演の中止のお知らせしました。

※ ポスター配布が一部の方に負担があり、来年度はポスターを理事全員に一枚はお願いする。（役員会にて）

③ 初日の作業

会場設営は、密にならないように9:45から45分ごとに割り振りスムーズにいった。

受付は13時から開始し、記帳・検温・消毒などコロナ対策を十分に行った。

④ 作品展示

- ・市民ホールの方々の事前準備のお陰で、備品配置の手間が簡素化されスムーズに準備できた。
- ・ビデオ放映も受付横と喫茶室の2カ所に分散したため、ソーシャルディスタンスも守られた。
- ・「ITを楽しむ会」「折り紙を楽しむ会」などの実演作業があり好評であった。
- ・初日、ニュース・入会の乗がなかった為、PRのため2日目からは受付に設置された。
- ・和室のビデオ放映が当初奥にあったが判り難く、入口横の表に移設され見やすく好評であった。

※各部屋の入り口掲示が見にくく、次年度から展示コーナーのグループ名を掲示する。

※10グループのビデオ放映は好評であり、文化協会のホームページからでもアクセスして見れるようにする。

⑤ その他

※来場者が質問しようとしても誰にすればよいか不明であり、次年度から役員・受付はスタッフのカードやリボンを付けてわかるようにする。

また展示室のグループ代表理事もリボンを付けて、外部から来て訪ねられるようにする。

- ・ビデオ放映は舞台上演が出来ない事で始まったが、文化協会紹介という面からも来年度も考える。上映場所は、新たに考える必要あり。
- ・受付には来場者に対して歌声があると華やぐので、CD等でも流すことを考える。

※最終日の後片付けは、役員全員が現状復帰の形まで事務所の方と一緒に作業することを確認する。(役員の反省)

平城ニュータウン文化協会 会則

1983年2月27日制定

2015年9月5日改訂

第1章 総則

第1条 この協会は平城ニュータウン文化協会という。

第2条 本協会は、本部(理事会および役員会)とそれに所属して自立的に活動する多数の講座・同好会(以下講座)から構成される。

第3条 本部は会長宅に、本部事務局は事務局長宅におく。

第2章 目的及び事業

第4条 会員の研究・創作発表・知識の交換並びに会員相互間及び他の文化団体との連携、提携の場となり、相互文化に関する進歩普及を図り、地域文化の発展に寄与することを目的とする。

第5条 前条の目的を達成するために、本部は各講座と連帯して次の事業を行う。

1. 講演会・研修会・展覧会・発表会・文化講座等の開催。
2. ニュース及び会誌の発行。
3. 自治体および自治会等関連団体との連携及び協力。
4. その他。

第3章 会員及び会費

第6条 本協会の目的に賛同し、入会を希望する者は会員となることが出来る。

第7条 1 会費は年1,500円とし、希望する複数の講座に入会することが出来る。

ただし、当会費は本部が行う事業に充当され、各講座の活動に伴う経費は、講座毎に別途費用負担を要する。

2 会費は毎年4月に、所属するいずれかの講座に納入する。ただし、指定する銀行への口座振込とすることも出来る。

3 年度途中の入会者の年会費は、4～6月は1,500円、7～9月は1,000円、10～12月は500円、翌年1～3月は無料とする。ただし、年度途中退会者の年会費の精算は行わない。

第4章 役員及び理事

第8条 1 協会には次の役員を置き、本部の役員会を組織し、総会及び理事会の決定事項に基づき、協会運営全般を執行する。

会長 1名、副会長 2名、事務局(局長1名、局長代理1名、次長1名、会計1名及び部長・副部长若干名) 監事 2名。

2 役員は改選期前の理事会において理事の互選により選出し、総会の承認を得る。

3 事務局の組織として組織部、広報部、行事事部、配布部等の職位を設ける。

4 各職位の基本的所掌は次のとおり。

(1)会長は協会を代表し、副会長はこれを補佐する。

(2)監事は会計監査を行い、総会に報告する。

(3)事務局長は協会運営を統括し、局長代理並びに次長はこれを補佐する。

(4)会計は収支管理、出納を行う。

(5)組織部は組織及び会員入退会の管理を行う。

(6)広報部はニュース・会誌等の発行を行う。

(7)配布部は委嘱した配布委員の協力を得て、ニュース・会誌等の配布を行う。

(8)行事事部は文化祭、講演会等を開催する。

第9条 1 理事会は各講座毎に選出された講座を代表する理事と、講座を代表する理事とは別に改選期前の理事会において次期理事として推薦された理事とで構成する。

2 理事会は役員会に委任する協会運営の基本事項の決定並びに総会に付議する議案の審議を行う。

3 役員以外の理事は、事務局各部のいずれかに所属し会務を分担する。

4 各講座を代表する理事は、毎年4月に所属する会員の会費を集約し、事務局に提出する。

第10条 1 顧問を置くことができる。顧問は理事会の同意を得て会長が委嘱する。

2 顧問は会議に出席して意見を述べることができる。

- 第11条 1 役員・理事の任期は2年とし、再任は妨げない。
2 任期途中の選解任は、役員は理事会と総会、理事は理事会の承認を要する。
3 補欠より選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
4 役員・理事はその任期満了でも、後任者が就任するまで、その職務を行う。

第5章 会議

- 第12条 1 理事会は必要に応じ、会長が招集する。但し、理事の3分の1以上から、会議の目的を示して請求のあった時は、理事会を招集しなければならない。
2 理事会の議長は、会長又は会長の指名する者とする。
3 理事会は理事2分の1以上出席しなければ、議事を開き議決することはできない。
4 理事会の議事は、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決す。

第13条 役員会は役員で構成し、必要に応じ会長が招集する。以下理事会に準ずる。

- 第14条 1 通常総会は毎年1回会長が招集する。
2 臨時総会は、理事会が必要と認めた時、会長が招集する。
3 総会の議長は総会出席者の中から指名する。
4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長が決す。

第15条 次の事項は通常総会に提出して、その承認を受けなければならない。

1. 事業報告及び収支決算。
2. 会計監査報告。
3. 事業計画及び収支予算
4. その他、理事会に於いて必要と認めた事項。

第6章 会計

第16条 経費は会費ならびに後援費、その他の収入による。

第17条 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 会則の変更

第18条 この会則は、総会の議決を得なければ変更することができない。

第8章 補足

第19条 この会則施行についての細則は、理事会の議決を得て別に定める。

第20条 この会則は、平成27年9月5日より施行する。

編集後記

☆ 「層富三十九号」をお届けします。当協会の講座や同好会は、二十講座から二十二講座と二講座増えましたが、会員は減少傾向です。この地域の高齢化による会員減少が主な原因と思われま

☆ 皆様からの様々な投稿や寄稿をいただきましたが、より一層の投稿を頂き、「層富」をバラエティに富んだ紙面にしたいと思

☆ 当文化協会は設立して三十九年が経過しますが、四〇周年記念行事を開催するかどうか議論すべき時期にきています。今

☆ は何とか組織維持が出来ますように今後も皆様方のご協力をお願いします。

☆ 平城ニュータウン文化協会のホームページでは文化協会の歴史や機関誌「層富」そして文化協会ニュースなどを掲載し、

☆ 読みごたえのある内容になっております。是非パソコンやスマートフォンで今一度ご覧下さい。アドレスは、
<https://hntbunka.jimdofree.com/>。奥付に記載のQRコードからもアクセスできます。

☆ 今年の文化祭は、新型コロナウイルス感染症の為、記念講演とグループ発表会が中止となり紙面が寂しくなりましたが、

☆ 「グループからの便り」はそれぞれの活動状況をご報告いただき、今後の新入会員の増員に繋がるよう期待をしています。

☆ 今年文化祭での展示物・パネルの写真を大きくして「層富」に掲載しました。これは、作品発表の場所として「層富」を位置づけたからです。更なる改善点などあればご提案願います

☆ 本編集は編集委員のご協力でここに迄に仕上げる事ができ感謝をしています。今後もより読みやすく、会員増加に繋がる「層富」にするため皆さんのご意見をお寄せ下さい。

《文責》 佐川 道夫

【編集】 層富 編集部

日比野豊、打田照子、岡典子、熊本悦子、谷口三枝子、杉田敏江、明政文男、柳本博文、遠山京子、佐川道夫

平城ニュータウン文化協会

平城ニュータウン文化協会



平城ニュータウン文化協会

平城ニュータウン文化協会
ホームページのQRコード

【発行】

平城ニュータウン文化協会

本部

〒六三〇一〇八〇一

奈良市左京三丁目六番地

会長 明政 文男

【印刷】

株式会社 明新社

〒六三〇一八一四一

奈良市南京終町三丁目四六四番地

